

QualityForward ユーザーマニュアル

最終更新日 2019/05/13

目次

第 1 章 はじめに 8

- 1.1. テスト管理クラウド QualityForward 8
- 1.2. サポート環境 8

第 2 章 ユーザ管理 9

- 2.1. ユーザサインイン 9
 - 2.1.1. パスワード再設定 10
- 2.2. ユーザ管理 11
 - 2.2.1. ユーザを招待する 11
 - 2.2.2. ユーザをテナントから削除する 14
- 2.3. ユーザ設定を変更する 15
 - 2.3.1. プロフィール設定を変更する 15
 - 2.3.2. パスワードを変更する 17
- 2.4. テナントを切り替える 17
- 2.5. アクセス権限を付与する 18
 - 2.5.1. テナントのユーザ権限を変更する 18
- 2.6. テナントの使用量 19

第 3 章 初期設定 21

- 3.1. 新規プロジェクトを作成する 22
 - 3.1.1. プロジェクトの基本設定 22
 - 3.1.2. テスト結果のラベルを設定する 23
 - 3.1.3. テスト結果補足を設定する 23
 - 3.1.4. テストスイートのテスト定義項目ラベルを設定する 24

3.1.5.	テスト結果部の項目ラベルを設定する	25
3.2.	プロジェクトにユーザを追加する	26
3.3.	プロジェクト設定を変更・削除する.....	27
3.3.1.	プロジェクト設定を変更する.....	27
3.3.2.	API キーを発行する	28
3.3.3.	プロジェクトをアーカイブする	28
3.3.4.	プロジェクト設定を削除する.....	29

第 4 章 進捗管理.....31

4.1.	ダッシュボード	31
4.1.1.	成分バーと期限バー	31
4.1.2.	実施中のテストフェーズ	32
4.1.3.	最近完了したテストフェーズ.....	32
4.1.4.	実施中のテストサイクル	33
4.1.5.	レビュー待ちのテストサイクル.....	33
4.1.6.	最近完了したテストサイクル.....	33

第 5 章 テストケースの管理.....35

5.1.	テストスイートを作成する	35
5.1.1.	テストスイートの基本設定.....	35
5.1.2.	テスト定義の項目を設定する.....	36
5.1.3.	カバレッジパネルの集計に利用する項目設定.....	37
5.1.4.	テスト結果の自由項目を設定する	38
5.1.5.	初期バージョンを設定する.....	39
5.1.6.	ファイルを添付する	39
5.2.	テストケース取込.....	41
5.2.1.	テストケース取込	41

5.3.	エクセルスマートインポート	44
5.3.1.	エクセルスマートインポート	44
5.4.	テストケース作成	49
5.4.1.	オンライン編集	49
5.5.	テストスイート設定を変更・削除する	52
5.5.1.	テストスイート設定を変更する	52
5.5.2.	テストスイートを削除する	52
5.6.	テストスイートにヘッダを追加する	53
5.7.	新しいバージョンのテストスイートを作成する	55
5.7.1.	新しいバージョンの基本設定	55
5.7.2.	テストスイートバージョンにタグ付けをする	56
5.7.3.	テストスイートバージョンのステータスを設定する	58
5.8.	テストスイートバージョン設定を変更・削除する	59
5.9.	テストスイートをロックする	59
5.10.	テストスイートをダウンロードする	61
5.11.	カバレッジパネルを利用する	62

第 6 章 テストフェーズの管理65

6.1.	テストフェーズを作成する	65
6.1.1.	テストフェーズの基本設定	65
6.1.2.	対象のテストスイートバージョンを設定する	66
6.2.	BTS 連携を行う	67
6.2.1.	Redmine と連携する	67
6.2.2.	Redmine のベース URL を設定する	68
6.2.3.	バグ一覧取得用の URL を設定する	69
6.2.4.	最近のインシデント取得用 URL を設定する	71

6.2.5.	JIRA と連携する.....	71
6.2.6.	JIRA のユーザ名とパスワードを入力する	72
6.2.7.	JIRA の URL ・ コンテキストパスを設定する.....	72
6.2.8.	JQL を設定する	73
6.2.9.	バグやクローズの文字列を設定する	74
6.3.	テストフェーズ設定を変更 ・ 削除する.....	76
6.3.1.	テストフェーズ設定を変更する	76
6.3.2.	テストフェーズを削除する.....	76

第 7 章 テストサイクルの管理78

7.1.	テストサイクルを作成する	78
7.2.	予実設定を管理する.....	79
7.2.1.	予実設定を入力する	79
7.2.2.	予実設定を初期化する	80
7.3.	テストサイクル設定を変更 ・ 削除する.....	81
7.3.1.	テストサイクル設定を変更する	81
7.3.2.	テストサイクルを削除する.....	81
7.4.	テストサイクルをエクスポートする.....	82

第 8 章 実行管理83

8.1.	テストを実行する.....	83
8.2.	文字列の配置を変更する	85
8.3.	列の表示 ・ 非表示を切り替える	86
8.4.	テスト結果補足の設定内容を確認する.....	87
8.5.	テストケースを編集する	88
8.6.	テスト結果をエクスポートする	89
8.7.	テスト結果をインポートする	91

8.8.	掲示板でテスト状況の報告を行う	92
8.9.	レビューを依頼する.....	94
8.10.	レビュー依頼を差し戻す	95
8.11.	レビューを完了する.....	97
8.12.	関連ファイルを確認する	99
8.13.	実行時間を確認する.....	99
8.14.	更新履歴管理	100

第 9 章 レポート管理..... 101

9.1.	プロジェクト全体のレポート	101
9.1.1.	収束曲線(総数)	101
9.1.2.	収束曲線(変動)	102
9.1.3.	プロジェクト全体のカバレッジパネル	103
9.1.4.	フェーズ一覧.....	105
9.2.	フェーズ毎レポート.....	105
9.2.1.	フェーズ毎のカバレッジパネル.....	105
9.2.2.	収束曲線(総数)	106
9.2.3.	収束曲線(変動)	107
9.2.4.	欠陥実績数を CSV で登録する	108
9.2.5.	進捗の内訳.....	110
9.2.6.	最近のインシデント	111
9.2.7.	バグ優先度別チャート	112
9.2.8.	ステータス別チャート	112
9.2.9.	実績推移表.....	113
9.2.10.	実績推移表をエクスポートする	114
9.3.	レポート設定	115

9.3.1.	フッターのラベルを変更する.....	115
9.3.2.	レポートのラベルを変更する.....	116

第 10 章 チーム Wiki の管理..... 119

10.1.	チーム Wiki の作成.....	119
10.1.1.	ページを新規作成する	119
10.1.2.	ファイルを添付する	120
10.1.3.	ページを追加する	122
10.2.	チーム Wiki を編集・削除する.....	122
10.2.1.	ページを編集する	122
10.2.2.	ページを削除する	123

第1章 はじめに

このたびは、ベリサーブのクラウド、QualityForward へご興味をもってください誠にありがとうございます。本章では QualityForward をご利用いただく際に必要な基本情報をご説明します。

1.1. テスト管理クラウド QualityForward

QualityForward は高度なテストングサービスを日々提供し、産学連携の技術開発にも貢献し続けるベリサーブのクラウドテスト管理サービスです。

現場の管理・分析・設計ノウハウ、および研究機関との共同開発の成果を、クラウド、そしてエンジニアを通じて、ご活用いただけます。

1.2. サポート環境

本節では、QualityForward がサポートするブラウザ、外部連携について説明します。

1. ブラウザ

ブラウザ	備考
Google Chrome 最新版 (推奨)	
Internet Explorer11 または Microsoft Edge 最新版	

2. 外部連携

Redmine 又は JIRA と同期することで、バグのオープンクローズチャートを QualityForward 上で確認することが可能です。

BTS	サポートバージョン	備考
Redmine	2.0 以上	Redmine の REST API を利用します
JIRA	7.0 以上	JIRA の REST API を利用します

第2章 ユーザ管理

本章では、ユーザ情報の管理について説明します。

2.1. ユーザサインイン

(1) トップ画面のサインインボタンを押します。



(2) 招待を承認済みのメールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押します。

サインイン

メールアドレス

パスワード

☐ ログイン状態を維持する

サインイン

⑦ パスワードをお忘れの場合

2.1.1. パスワード再設定

パスワードを忘れてしまった場合はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- (1) サインイン画面より、“パスワードをお忘れの場合”をクリックしてください。



サインイン

メールアドレス

パスワード

☐ ログイン状態を維持する

サインイン

②パスワードをお忘れの場合

- (2) パスワードを再設定したいアカウントのメールアドレスを入力し、パスワード再発行ボタンを押します。パスワード再設定のためのメールが入力されたメールアドレス宛に送付されます。

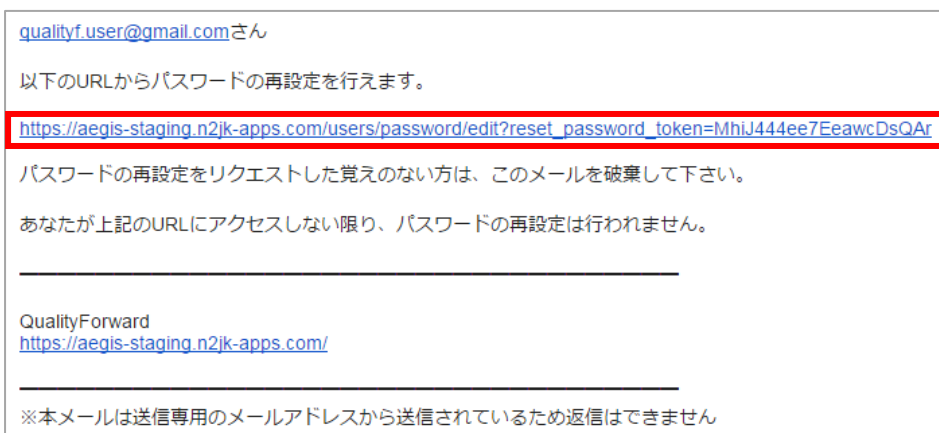


パスワードの再発行

メールアドレス

パスワード再発行

- (3) 送信されたメールから、パスワード再設定のための URL をクリックします。



qualityf.user@gmail.comさん

以下のURLからパスワードの再設定を行えます。

https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset_password_token=MhiJ444ee7EeawcDsQAr

パスワードの再設定をリクエストした覚えのない方は、このメールを破棄して下さい。

あなたが上記のURLにアクセスしない限り、パスワードの再設定は行われません。

QualityForward
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>

※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません

- (4) パスワード欄と確認用パスワード欄に新しく設定したいパスワードを入力し、パスワード変

更ボタンを押します。



パスワードの変更

パスワード

確認用パスワード

パスワード変更

2.2. ユーザ管理

現状の QualityForward ではユーザは所属するプロジェクト以下の、テストフェーズ、サイクルに対し読み込み・書き込みの権限を持ちます。テスト業務をスムーズに遂行するために、プロジェクトに所属する要員であれば誰でも自由に資料にアクセスできた方が良く、という考え方が背景にあります。所属しないプロジェクトに関しては、読み込み・書き込みのどちらも行うことができません。

2.2.1. ユーザを招待する

ゲストがユーザとしてサインインを行うには、ユーザの招待が必要です。通常、招待されたユーザはいずれかのテナントに属します。ユーザの招待はテナント管理者権限を持つユーザのみが行え、プロジェクト管理者または一般ユーザは新たにユーザを招待することができません。本項ではテナント管理者が新しくユーザを招待する方法を説明します。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧の右上にあるユーザ招待ボタンを押します。



- (3) 招待したいユーザのメールアドレスを入力します。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限 一般ユーザ

- (4) ユーザを招待する際に、参加させるプロジェクトの選択ができ、プロジェクトの管理者としての権限を与えることもできます。

招待するユーザにプロジェクト管理者としての権限を与えたい場合は、管理者のチェックボックスにチェックを入れます。

管理者権限が不要な場合は、参加のチェックボックスにのみチェックを入れます。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限 一般ユーザ ▼

プロジェクト設定

参加	管理者	プロジェクト
☐	☐	サンプルプロジェクト

招待メールを送る

(5) 招待メールを送るボタンを押します。

プロジェクト設定

参加	管理者	プロジェクト
☐	☐	サンプルプロジェクト

招待メールを送る

※テナントの権限で「テナント管理者」を選択している場合、プロジェクト設定は表示されません。

新規ユーザの招待

基本設定

メールアドレス

テナントの権限 テナント管理者 ▼

招待メールを送る

(6) 入力したメールアドレス宛に招待メールが送信されます。招待メールから、招待を承認する

ための URL をクリックします。



(7) 名前とパスワードを入力し、続けるボタンを押します。

名前とパスワードの設定

* 名前
システム上で表示する名前

パスワード
半角英数記号8文字以上

確認用パスワード
もう一度入力してください

続ける

※本画面で設定したお名前が、テスト結果のテスター欄に記入されます。お名前、メールアドレス、パスワードは後から変更可能です。

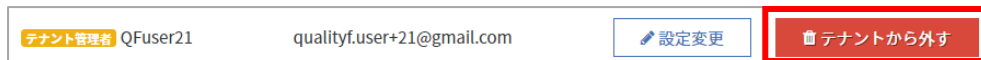
2.2.2. ユーザをテナントから削除する

登録ユーザのアカウントを削除する方法について説明します。

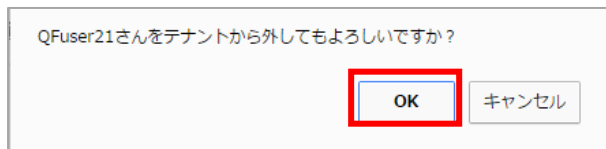
(1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) 一覧から、停止するユーザのメールアドレス横にあるテナントから外すボタンを押します。



- (3) 停止の確認メッセージダイアログボックスが表示されたら OK ボタンを押します。



2.3. ユーザ設定を変更する

ユーザ毎にアカウントの設定を変更することができます。

2.3.1. プロフィール設定を変更する

以下の手順でユーザの名前、メールアドレスの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



(2) 変更したい名前またはメールアドレスを入力します。

プロフィール設定

名前
QF太郎

メールアドレス
qFxxxxxxx@gmail.com

プロフィール画像
Q
ファイルを選択 選択されていません

更新

(3) ファイルを選択ボタンを押し、プロフィールに設定したい画像を選択します。

プロフィール設定

名前
QF太郎

メールアドレス
qFxxxxxxx@gmail.com

プロフィール画像
Q
ファイルを選択 選択されていません

更新

(4) 変更したい箇所の入力を終わったら更新ボタンを押します。

2.3.2. パスワードを変更する

以下の手順でパスワードの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



- (2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、更新ボタンを押します。

パスワード変更

現在のパスワード

パスワード

確認用パスワード

更新

2.4. テナントを切り替える

複数テナントに属するユーザはログインした状態でテナントを切り替えることができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの切り替え”をクリックします。

※ユーザが属するテナントがひとつの場合、テナント切り替えメニューは表示されません。



(2) 切り替えたいテナント名の右側にある切り替えボタンを押します。

テナントを選択してください

サンプルテナント	切り替え
veriserve	切り替え

2.5. アクセス権限を付与する

ユーザの権限レベルにより、ユーザをテナントへ招待したり、プロジェクトへの招待・管理者設定を行うことができます。

それぞれの権限での実行可能機能は以下の通りです。

権限種別 ↓	ユーザを自分が所属しているテナントに招待する →	テナントへの招待時にプロジェクト管理者への権限付与	既存ユーザへのテナント管理者権限の付与・はく奪	既存ユーザへのプロジェクト管理者権限の付与・はく奪	プロジェクトの作成・削除	自分の管理下のプロジェクトへのユーザ追加・削除	自分が所属するテナントへのチーム作成	自分の管理下のプロジェクトの設定変更	自分がアクセス権限を持つプロジェクト内のデストスイートのロック・ロック解除	自分がアクセス権限を持つプロジェクト資産(プロジェクト以下全て)の編集	自分の名前、メールアドレス、パスワードの変更
テナント管理者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プロジェクト管理者	×	×	×	○	×	○	×	○	○	○	○
一般ユーザ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

2.5.1. テナントのユーザ権限を変更する

ユーザの権限が「テナント管理者」の場合、他のユーザに対しテナント管理者権限の付与または

一般ユーザへの変更を選択できます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。



- (2) テナントのユーザー一覧から権限を変更したいユーザの設定変更ボタンを押します。



- (3) テナントの権限リストボックスから権限を選択します。



- (4) 更新ボタンを押します。

2.6. テナントの使用量

テナント全体の最大ユーザ数と最大テスト結果数を月毎に確認することができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの使用量”をクリックします。



- (2) 月毎の最大ユーザ数と最大テスト結果数がこちらで確認できます。

トップ / サンプルテナントの使用量

QualityForward@サンプルテナント

月別の最大使用量

対象月	最大ユーザ数	最大テスト結果数
2017年09月	8 人	4,245 件
2017年08月	8 人	4,228 件

- (3) また、プロジェクト一覧でも登録済みユーザ数を確認することができます。

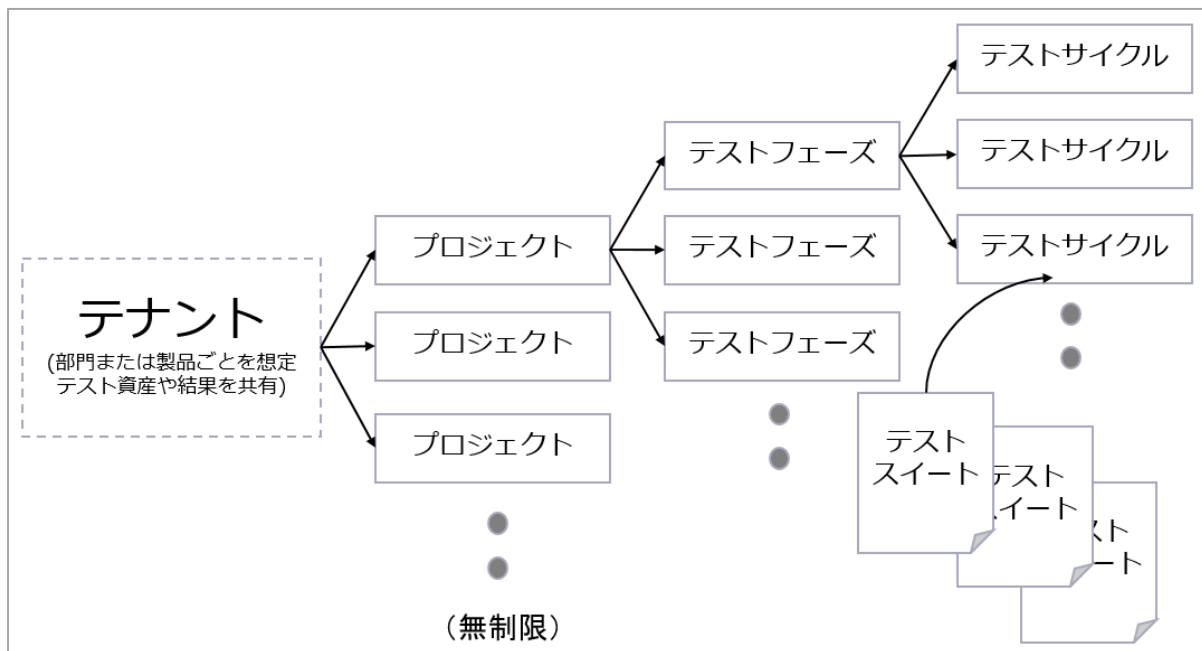
QualityForward@QFサポートチーム			
現在3名登録中です			
プロジェクト一覧 +プロジェクト追加			
名前検索	検索		
プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	3人

第3章 初期設定

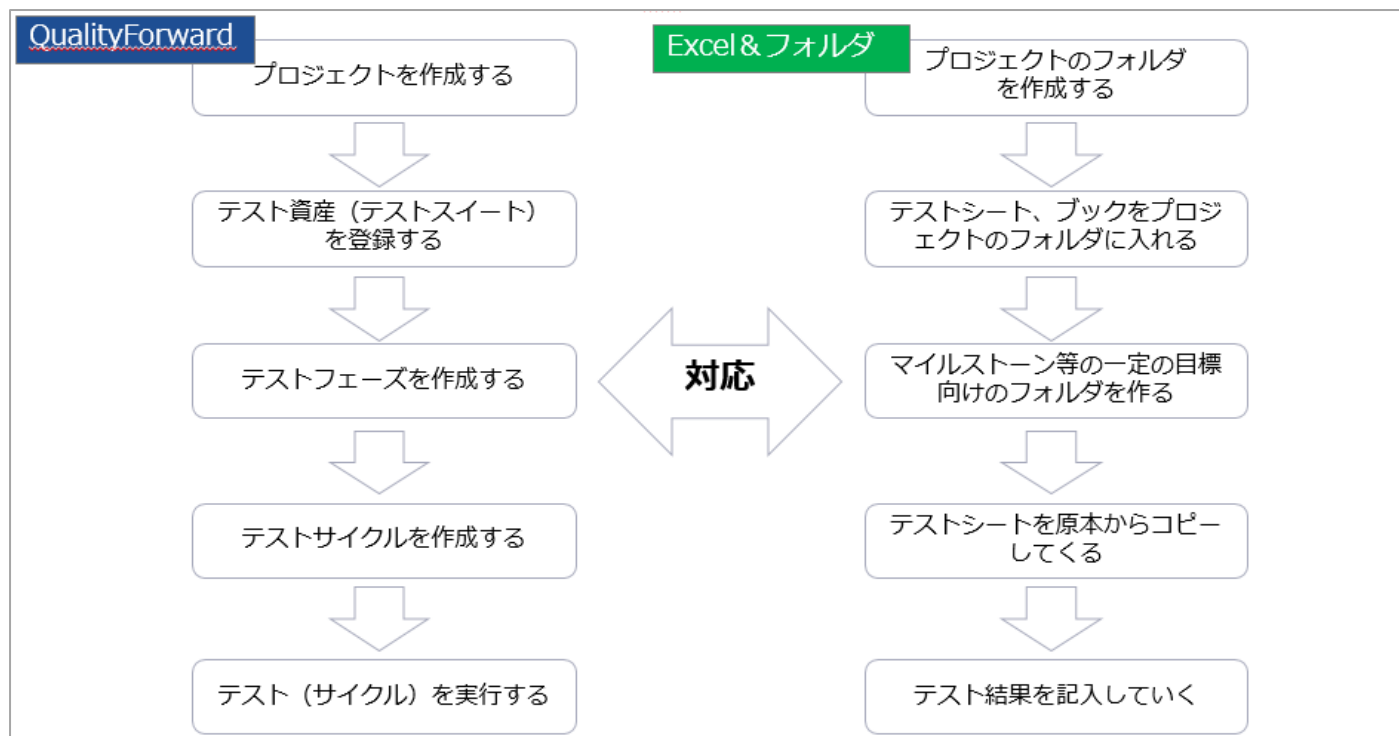
QualityForward におけるテストプロジェクトは以下のような構造を持っています。

テナントという仮想的なトップレベルの構造がお客様ごとに生成され、ログイン直後はこのテナントに属するプロジェクトの一覧が表示されます。テナントは製品ライン、プロジェクトはそのまま、一定の期間をもつプロジェクトとお考え下さい。

プロジェクトごとに、一定の期間、ボリュームが設定されたテストフェーズが存在し、フェーズの下に、プロジェクトのテストスイートから生成されたテストサイクル（テストの実行単位）が属します。



ファイルサーバのフォルダと Excel のシート、ブックを利用してプロジェクトを進める場合と、QualityForward を利用してプロジェクトを進める場合を下図で比較します。以下のように、フォルダと Excel での作業の流れとほぼ完全に対応しています。



3.1. 新規プロジェクトを作成する

プロジェクトの新規作成手順について説明します。プロジェクトの設定は後から変更可能です。

3.1.1. プロジェクトの基本設定

- (1) ユーザサインイン後に表示されるプロジェクト一覧の右上にあるプロジェクト追加ボタンを押します。



- (2) プロジェクトの基本情報を入力します。概要説明は HTML 形式での入力が可能です。

プロジェクトの新規追加

基本設定

* プロジェクト名

* 概要説明

3.1.2. テスト結果のラベルを設定する

テスト結果を入力する際のラベルを決めます。テスト結果のラベルは7種類まで設定することができます。進捗数として数えたくないテスト結果の種類がある場合、「進捗集計の対象としない」チェックをオンにします。変更の必要がない場合はそのまま登録の手順に進んでください。

テスト結果のラベル

PASSのラベル

PASS

●期待動作と製品の振る舞いに相違がない場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

FAILのラベル

FAIL

●期待動作と製品の振る舞いに相違がある、または個別の決定的な不具合がある場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

SKIPのラベル

SKIP

●テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

CUTのラベル

CUT

●テスト管理者の判断で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

BLOCKのラベル

BLOCK

●テスト実施中の何らかの事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

N/Aのラベル

N/A

●機能ドロップなど、テスト対象の事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

☐ 進捗集計の対象としない

3.1.3. テスト結果補足を設定する

テスト結果を入力した後に結果の変更があった場合などに、テスト結果の補足(FAIL から PASS へ変更など)を入力することができます。このテスト結果補足は、通常のテスト結果と同様にテスト実行画面での入力が可能で実績推移表で集計が行われます。

- (1) テスト結果補足を仕様する場合は、「補足を利用する」チェックを on にします。

テスト結果の補足

補足を利用する

☐

- (2) テスト結果が入力された場合に、結果に紐づくテスト結果補足を設定できます。入力形式は csv で「名称,説明書き」の形式で入力します。Q&A は内容の分類を追加するなどして補足

することができます。Q&A は収束曲線でも表示されます。

テスト結果の補足

補足を利用する ☒

注意：テスト結果保全のため、一度補足の種類を追加したら減らす事はできません。ラベルの変更は可能です。
補足はテキストエリアの何行目かをIDとして利用しています。
フォーマットはCSVで、1列目は名称、2列目は説明書きとなっています。

PASSの補足	FAIL→PASS,FAIL から PASS へ変更 SKIP→PASS,SKIP から PASS へ変更 QA→PASS,QA から PASS へ変更
FAILの補足	Q&A→FAIL,Q&A から FAIL へ変更 SKIP→FAIL,SKIP から FAIL へ変更
SKIPの補足	FAIL→SKIP,FAIL から SKIP へ変更
CUTの補足	FAIL→CUT,FAIL から CUT へ変更 SKIP→CUT,SKIP から CUT へ変更
BLOCKの補足	FAIL→BLOCK,FAIL から BLOCK へ変更 SKIP→BLOCK,SKIP から BLOCK へ変更 CUT→BLOCK,CUT から BLOCK へ変更
NAの補足	FAIL→N/A,FAIL から N/A へ変更 SKIP→N/A,SKIP から N/A へ変更 CUT→N/A,CUT から N/A へ変更 BLOCK→N/A,BLOCK から N/A へ変更
Q&Aの補足	機能仕様,機能仕様についてのQ&A 実装仕様,実装仕様についてのQ&A テスト仕様,テスト仕様についてのQ&A

※一度保存をすると種類を減らすことができません。

※保存済のラベルを変更することは可能です。

3.1.4. テストスイートのテスト定義項目ラベルを設定する

テストスイートの項目名を決めることができます。ここで入力したラベルは全てのテストスイートに反映されます。テストスイートのテスト定義項目は標準で 25 項目まで(申込時オプションによって異なります)設定が可能です。使わない項目はそのまま登録してください。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 5.1.3.参照)

テストスイートのテスト定義項目ラベル

* 項目1のデフォルトラベル

* 項目2のデフォルトラベル

* 項目3のデフォルトラベル

* 項目4のデフォルトラベル

* 項目5のデフォルトラベル

3.1.5. テスト結果部の項目ラベルを設定する

テスト実行画面のテスト結果部の項目名をここで設定できます。入力したラベルは全てのテストスイートに反映されます。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 5.1.3. 参照)

テスト結果部の項目は標準で 10 列まで使用可能です。(申込時オプションによって異なります)

テストスイートのテスト結果項目ラベル

項目1のデフォルトラベル

項目2のデフォルトラベル

項目3のデフォルトラベル

項目4のデフォルトラベル

全ての入力を終えたら登録するボタンを押します。ダッシュボードの画面に切り替わればプロジェクト登録完了です。

3.2. プロジェクトにユーザを追加する

テナント管理者またはプロジェクト管理者の権限を持つユーザは、テナント内のユーザをプロジェクトに招待することができます。

- (1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。



- (2) プロジェクト参加ユーザー一覧の右上のユーザ追加ボタンを押します。



- (3) プロジェクトに参加していないユーザの一覧が表示されます。プロジェクトの管理者として参加させる場合は、追加するユーザの管理者チェックボックスをオンにします（このとき、参加チェックボックスも自動でオンになります）。一般ユーザとして参加させる場合は、参加のチェックボックスをオンにします。

ユーザの追加

参加	管理者	名前	メールアドレス
☐	☐	QFuser1	qualityf.user+1@gmail.com
☐	☐	QFuser2	qualityf.user+2@gmail.com
☐	☐	QFuser3	qualityf.user+3@gmail.com
☐	☐	QFuser4	qualityf.user+4@gmail.com
☐	☐	QFuser5	qualityf.user+5@gmail.com

選択したユーザを追加

- (4) 選択が完了したら、選択したユーザを追加ボタンを押します。

3.3. プロジェクト設定を変更・削除する

作成したプロジェクトはいつでも変更することが可能です。プロジェクトの変更はどの権限のユーザでも行えますが、プロジェクトの削除はテナント権限またはプロジェクト管理者権限を持つユーザしか行えません。

3.3.1. プロジェクト設定を変更する

- (1) トップ画面から変更したいプロジェクト名のリンクをクリックします。
- (2) プロジェクトのダッシュボード画面右上の設定ボタンを押します。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward@QFサポートチーム

サンプルプロジェクト

ユーザ管理

設定

- (3) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

3.3.2. API キーを発行する

QualityForward はテストスイート、テスト結果データへの、ウェブ API によるフルアクセス (CRUD)をサポートしております。

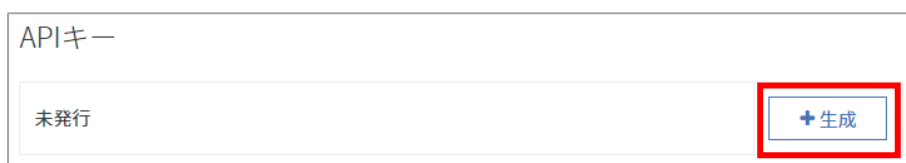
これらの API を利用して、組み合わせテストの自動生成や、独自ルールでの集計等が実現可能です。

WebAPI キーは以下の手順で発行できます。

- (1) プロジェクト設定画面を開きます。



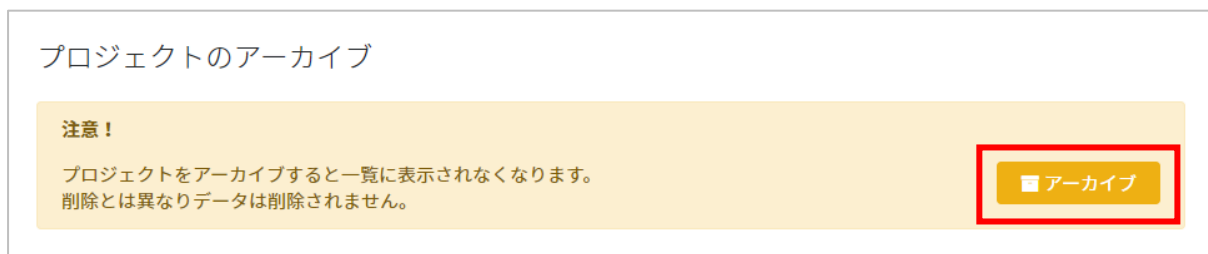
- (2) API キー欄横の生成ボタンを押します。



3.3.3. プロジェクトをアーカイブする

終了したプロジェクトはプロジェクトの一覧から外し、整理することができます。アーカイブはプロジェクト管理者以上の権限を持つユーザのみ実行できます。プロジェクト一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) プロジェクトの設定画面の下部にあるアーカイブボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

テストプロジェクトをアーカイブしても宜しいですか？

OK

キャンセル

- (3) アーカイブしたプロジェクトはプロジェクト一覧のアーカイブタブに表示されます。

プロジェクト一覧 +プロジェクト追加

▶ アクティブ **■ アーカイブ**

名前で検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
テストプロジェクト	0件	0件	1人

3.3.4. プロジェクト設定を削除する

プロジェクトの削除はプロジェクト設定画面から行うことができます。

- (1) プロジェクト設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

プロジェクトの削除

注意！

プロジェクトを削除すると全てのデータが消去されます。
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

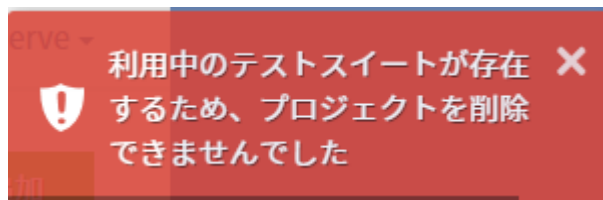
- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

サンプルプロジェクトを削除しても宜しいですか？

OK

キャンセル

※テストフェーズに紐付いているテストスイートが存在する場合、プロジェクトの削除を行うことができません。



第4章 進捗管理

本章ではプロジェクトの進捗管理について説明します。

4.1. ダッシュボード

ダッシュボードでは各テストフェーズ、テストサイクルの進捗状況をひと目で確認することができます。



4.1.1. 成分バーと期限バー

テストケース消化率と、テスト結果の割合、期日に対し遅れているのか、進んでいるのか？が、ひと目でわかります。テストフェーズ単位、テストサイクル単位での確認ができます。

(1) 成分バーにカーソルを合わせると、テスト結果と件数を確認できます。



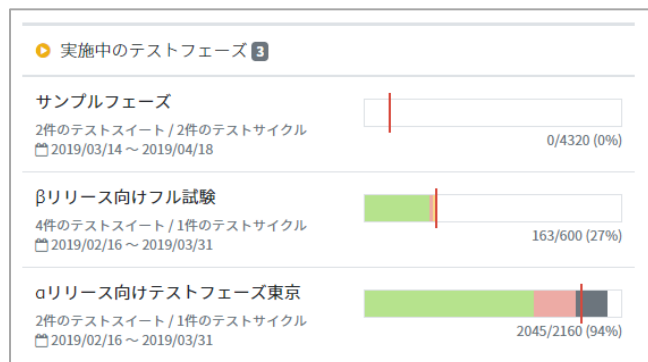
(2) 期限バーにカーソルを合わせると、当日の予定件数を確認できます。



※期限バーの予定件数に関しては予実設定画面(手順 7.2.参照)の進捗予測から反映されます。予実設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

4.1.2. 実施中のテストフェーズ

現在実施期間中のフェーズがダッシュボード画面に一覧表示されます。



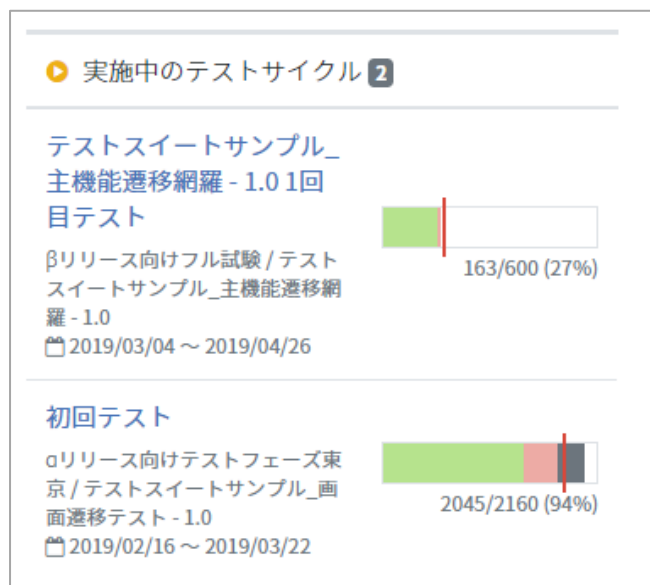
4.1.3. 最近完了したテストフェーズ

設定した終了日を過ぎたテストフェーズが最近完了したテストフェーズに表示されます。



4.1.4. 実施中のテストサイクル

テスト実行が開始されているテストサイクルがダッシュボード画面に一覧で表示されます。



4.1.5. レビュー待ちのテストサイクル

テスト実行画面でチェック依頼ボタンを押すと、そのテストサイクルがチェック待ちのテストサイクル一覧に表示されます。



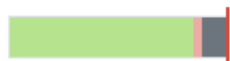
4.1.6. 最近完了したテストサイクル

チェック依頼中のテストサイクルを確認し、完了ボタンを押すと最近完了したテストサイクルに表示されます。

✓ 最近完了したテストサイクル **1**

初回テスト

αリリース向けテストフェーズ沖
縄 / テストスイートサンプル_画
面遷移テスト - 1.0



2160/2160 (100%)

📅 2019/02/16 ~ 2019/03/17

第5章 テストケースの管理

本章では、実際にテストに使用するテストケースの登録方法や、管理方法について説明します。

5.1. テストスイートを作成する

テストケースを管理するためのテストスイートの作成方法について説明します。テストスイートの追加方法はテストスイート追加・エクセルインポートの2種類あります。設定は後から変更可能です。

5.1.1. テストスイートの基本設定

(1) ダッシュボード画面左のメニューからテストスイートのリンクをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward

サンプルプロジェクト

QualityForward をトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。
詳しい操作マニュアルとご利用上のTipsは画面右上の「？」マークよりご覧いただけます。

ユーザ管理 設定

ダッシュボード

テストスイート

テストフェーズ

レポート

チームWiki

実施中のテストフェーズ 1

αリリース向けテストフェーズ沖縄
2件のテストスイート / 3件のテストサイクル
2019/02/16 ~ 2019/04/30
2160/6480 (33%)

最近完了したテストフェーズ 2

αリリース向けテストフェーズ東京
2件のテストスイート / 2件のテストサイクル
2019/02/16 ~ 2019/03/31
2045/4320 (47%)

βリリース向けフル試験
4件のテストスイート / 2件のテストサイクル
2019/02/16 ~ 2019/03/31
163/840 (19%)

実施中のテストサイクル 3

テストスイートサンプル_通信機能テスト - 1.0 1回目テスト
αリリース向けテストフェーズ沖縄 / テストスイートサンプル_通信機能テスト - 1.0
2019/04/11 ~ 2019/04/25
0/2160 (0%)

レビュー待ちのテストサイクル 1

初回テスト
αリリース向けテストフェーズ東京 / テストスイートサンプル_通信機能テスト - 1.0
2019/02/16 ~ 2019/03/22
2045/2160 (94%)

最近完了したテストサイクル 0

ありません

(2) テストスイート一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。

テストスイート一覧				excelインポート	+ テストスイート追加
名前で検索		検索			
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース		
【CP】【画面確認テスト】詳細設計 ✎ 設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間：未集計 ✎ 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser21	56件	カバレッジパネル	編集
テストスイートサンプル_リリース前試験 ✎ 設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間：未集計 ✎ 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser21	240件	カバレッジパネル	編集
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 ✎ 設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間：未集計 ✎ 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser21	600件	カバレッジパネル	編集
テストスイートサンプル_画面遷移テスト ✎ 設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間：未集計 ✎ 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser21	2160件	カバレッジパネル	編集
テストスイートサンプル_通信機能テスト ✎ 設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間：未集計 ✎ 設定 📄 コピー 📄 xlsx	QFuser21	2160件	カバレッジパネル	編集

(3) テストスイートの基本情報を入力します。

テストスイートの新規追加

基本設定

* テストスイート名

5.1.2. テスト定義の項目を設定する

テスト項目のラベルを自由に設定できます。初期表示ではプロジェクト作成時に設定したラベルが表示されています。

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

対象のカラム

指定なし

項目1

項目2

項目3

項目4

項目5

項目6

項目7

テスト結果の自由項目設定

項目1のラベル

5.1.4. テスト結果の自由項目を設定する

テスト結果部に対し自由に入力できる項目が必要な場合、項目の追加とラベル設定ができます。ここで設定した項目はテスト実行画面で表示され、テスト結果に対する備考やバグ IDなどを自由に入力できるようになります。初期表示では“環境”、“バグ ID”、“備考”が設定されています。

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

テスト結果の自由項目設定	
項目1のラベル	環境 ☒ 項目1を使う
項目2のラベル	バグID ☒ 項目2を使う
項目3のラベル	備考 ☒ 項目3を使う
項目4のラベル	 ☐ 項目4を使う
項目5のラベル	 ☐ 項目5を使う

(2) 使用する項目にチェックを入れます。

テスト結果の自由項目設定

項目1のラベル	環境 ☒ 項目1を使う
項目2のラベル	バグID ☒ 項目2を使う
項目3のラベル	備考 ☒ 項目3を使う
項目4のラベル	 ☐ 項目4を使う
項目5のラベル	 ☐ 項目5を使う

5.1.5. 初期バージョンを設定する

テストスイートの新規作成時にバージョン情報を付加します。作成したテストスイートはコピーしてバージョン管理を行うことができます。

- (1) バージョン名には任意のバージョン名を入力することができます。備考欄は HTML での入力が可能です。備考欄に入力した内容はテストサイクル画面でも確認することができます。

初期バージョンの設定

バージョン名

①バージョン名には任意の文字列を使用することができます

管理者

備考

添付ファイル

5.1.6. ファイルを添付する

テストスイートに対しファイルを添付することができます。添付したファイルはテストケース編

集画面またはテスト実行画面の関連ファイル(手順 8.6 参照)からダウンロードすることができます。

- (1) テストスイートの新規追加画面から添付ファイルの追加ボタンを押します。

初期バージョンの設定

バージョン名: 1.0
バージョン名には任意の文字列を使用することができます

管理者: [dropdown menu]

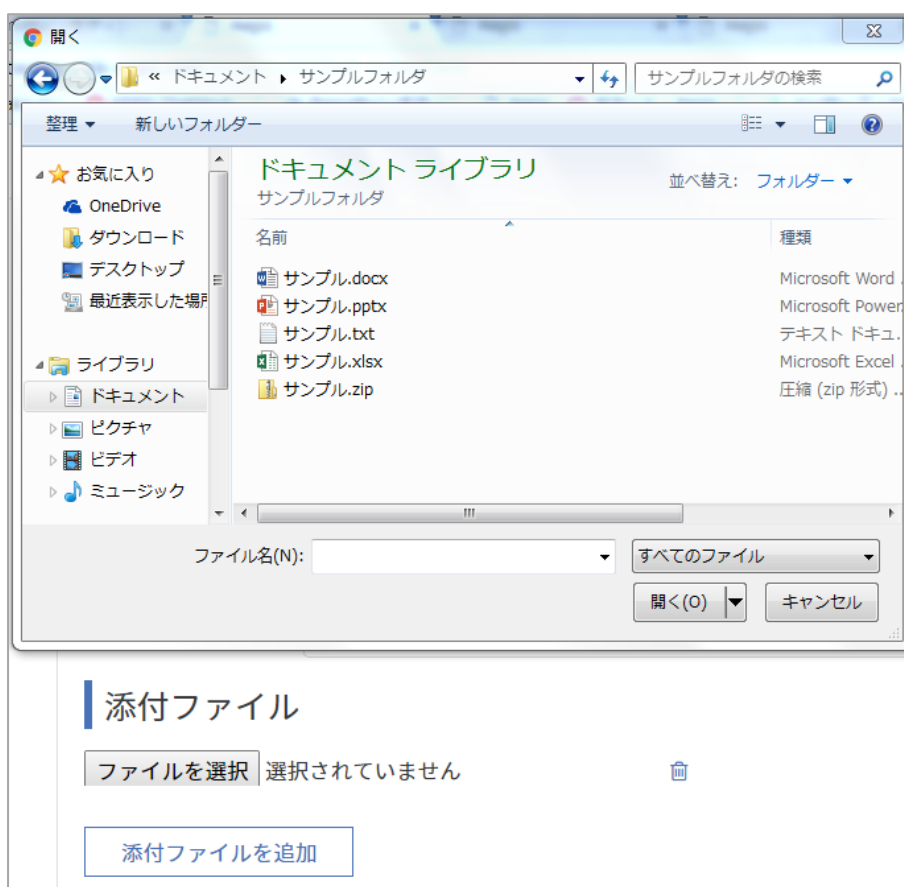
備考: [text area]

添付ファイル

添付ファイルを追加

登録する

- (2) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、添付したいファイルを選択し開くボタンを押します。



- (3) 入力を終わったら登録するボタンを押します。

5.2. テストケース取込

テストケースはエクセルファイルからインポートすることも可能です。上書きやケースをまとめて追加する際などはテストケース編集画面のテストケース取込を使用します。

5.2.1. テストケース取込

テストケース取込を使用する場合、識別 ID に既に存在する ID を指定するとその識別 ID のテストケースに対する上書きが行われ、存在しない識別 ID を指定するとテストケースが追加されます。

- (1) テストケース取込画面で表示されているフォーマットに合わせたエクセルシートを整形します。項目を変更したい場合はテストスイートの設定から変更を行います。(手順 5.4.参照)

テストケースの取込

このテストスイートでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...

* excelファイル(.xlsx)

ファイルを選択

選択されていません

手順 1:テストケースが記述されている部分のみを残して、左上を A-1 セルに合わせます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2	事前条件
	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls	Aegisにログインし、テスト環境に移す (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)
2	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx	Aegisにログインし、テスト環境に移す (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)

手順 2 : A 列に左から “識別 ID”、 “優先度” 列を挿入します。

A	B	C	D	E	F	G	H
識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

以下のようなシートをインポートする場合は

識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

下図のようにラベルを設定します。

識別 ID と優先度列をさきほど追加しましたが、この 2 列は自動でラベル付けされますので、ここで設定していくのは、優先度 の右隣、3 列目からになります。

項目1のラベル	設計ID-実装ID	☒ 項目1を使う
項目2のラベル	機能分類	☒ 項目2を使う
項目3のラベル	機能分類2	☒ 項目3を使う
項目4のラベル	属性	☒ 項目4を使う
項目5のラベル	テスト条件1	☒ 項目5を使う

※識別 ID はテストケース取込時に必須の項目です。テストケースを更新したり追加したり

する場合に、識別 ID を頼りに行います。

※優先度は特に定義がない場合はすべて A で構いません。優先度を設定しなかった場合、テスト実行画面ではグレイアウトされた行になり、テストケース数としてもカウントされません。テストケースではないが、補足的に利用したい行として活用できます。

	優先度 ▼	項目1 ▼	項目2 ▼	項目3 ▼	
1		正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、移ること ・「○件のテストケース」されること ・インポートしたテスト
2	A	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーメッセージが表示されること

- (2) ファイルの用意ができたならテストケース一覧画面右上にあるテストケース取込ボタンを押します。

テストスイートのテストケース

+ テストケース取込

📎 サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

	優先度 ▼	項目1 ▼	項目2 ▼	項目3
1				
2				
3				
4				
5				
6				

- (3) ファイルの準備が整ったらファイルを選択ボタンを押してください。

テストケースの取込

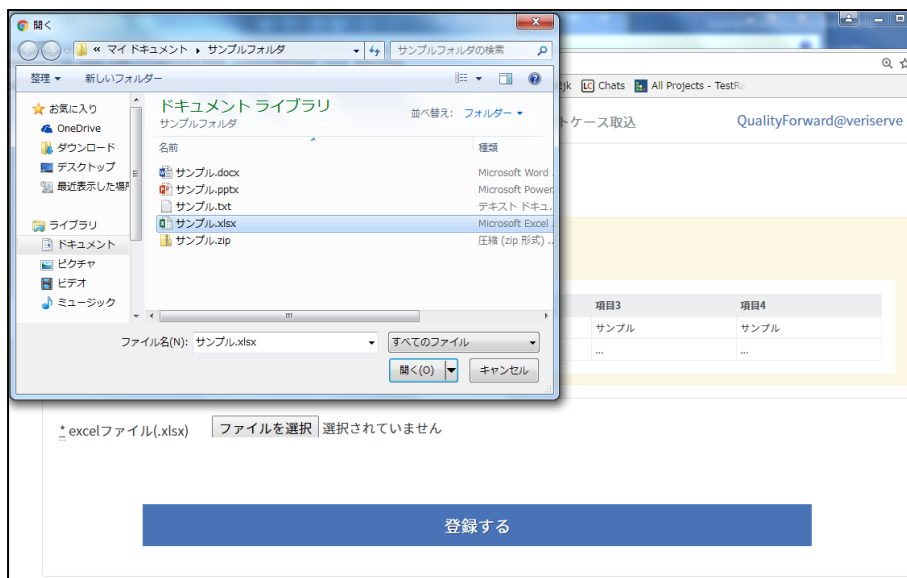
このテストスイートでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...

* excelファイル(.xlsx) ファイルを選択 選択されていません

登録する

- (4) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(5) ファイルを選択したら登録ボタンを押します。

5.3. エクセルスマートインポート

エクセルスマートインポートでは「5.1.テストスイートを作成する」の手順を踏まずに、エクセルで作成したテストケースを取り込むことでテストスイートを作成することができます。

5.3.1. エクセルスマートインポート

エクセルファイルで作成したテストケースをインポートすることができます。

(1) テストスイート一覧画面右上の excel インポートボタンを押します。

テストスイート一覧

名前を検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間: 未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	240件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間: 未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	600件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間: 未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	2160件	カバレッジパネル 編集

- (2) テストスイート名を入力し、ファイルを選択ボタンを押します。

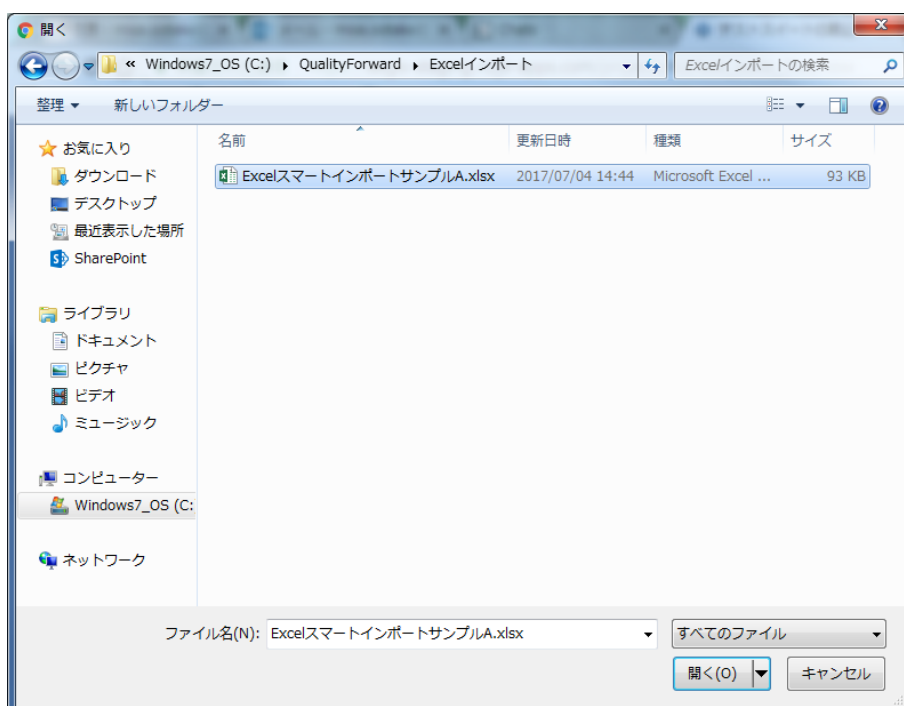
excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

* テストスイート名

* excelファイル(.xlsx) 選択されていません

- (3) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



- (4) ファイルを選択したら次へボタンを押します。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

* テストスイート名

* excelファイル(.xlsx) Excelスマー...ルA.xlsx

- (5) インポートするシートを選択し、次へボタンを押します。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

対象シート

- ☒ TestCase_リスクベースドテスト2
- ☐ TestCase_リスクベースドテスト1
- ☐ 【Aegis】機能一覧
- ☐ テストユーザー
- ☐ Sheet1

次へ

- (6) 一番左のラジオボタンで項目行を選択します。選択した行が項目名としてテストスイートに登録されます。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード 2. 対象シートの選択 3. インポート内容の調整 4. 確認

左側のラジオボタンで取込開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。 カラム数: 0 / 25

☒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
まげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F	
☐	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイルの閉じタグが存在する	
☐	A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイルの閉じタグが含まれていること	
☐	A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合	・任意の作成してお	
☐	A	11				プロジェクトの削除を行った場合	・任意の作成してお	
☐	A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合	・テストしていない対象として作成し	

戻る 次へ

- (7) 上部のチェックボックスで取り込む列を選択します。取り込み時にチェックボックスがオンになっているので不要な列のチェックを外します。標準で最大 25 列まで選択することができます。(申込時オプションにより異なります)取り込まれる列は緑色で表示されます。列の選択が完了したら次へボタンを押します。

excelインポート

1. xlsxファイルのアップロード

2. 対象シートを選択

3. インポート内容の調整

4. 確認

左側のラジオボタンで取込開始行を、上部のチェックボックスで取り込む列を指定できます。

カラム数： 7 / 25

	☒	☒	☒	☒	☒	☒	☒
● ほげほげ	ふがふが	A	B	C	D	E	F
○ 1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル内にタグが存在する
○ 2	A	16				セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートファイル内にタグが含まれること
○ 3	A	11	プロジェクトの更新/削除	プロジェクトの更新/削除	プロジェクト情報の削除が正しく行われること	プロジェクトの削除を行った場合	・任意の作成してお
○ 4	A	11				プロジェクトの削除を行った場合	・任意の作成してお
○ 5	A	25	テストサイクル一覧	テストスイートエクスポート	テストスイートに登録されたテストケース一覧が正常にエクスポートされることを確認する	テストケースが0件の場合	・テストしていない対象として作成し

戻る

次へ

- (8) 確認画面に遷移するので、優先度の設定がある場合は優先度を入力してあるカラムを選択します。指定なしの場合は全てのテストケースに「A」が付与されます。
- ※優先度は「A・B・C」のいずれかを指定できます。それ以外の文字は全て空欄で登録されます。

1. xlsxファイルのアップロード

2. 対象シートの選択

3. インポート内容の調整

4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは一部のみ表示しています。

優先度カラムは「A, B, C」を取り込めます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

優先度カラム

	優先度								
1	A								
2	A	16					サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	あること・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1[ファクトシート: テックスタック]をクリック
3	A	16					設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1[ファクトシート: テックスタック]をクリック
4	A	16					設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が1つのテストケースであること	1[ファクトシート: テックスタック]をクリック

戻る

取り込む

(9) 間違いがなければ取り込むボタンを押します。選択し直す場合は戻るボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード
2. 対象シートの選択
3. インポート内容の調整
4. 確認

1行目をヘッダとして、2行目以降がテストケースとして取り込まれます。ここでは一部のみ表示しています。
優先度カラムは「A, B, C」を取り込みます。「指定なし」を選んだ場合、優先度の値が認識できない場合は「A」として取り込まれます。

優先度カラム
優先度

	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファをクリートすックすン]をク
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファをクリートすックすン]をク
3	A	16				設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファをクリートすックすン]をク
4	A	16				設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が1つのテストケースであること	1.[ファをクリートすックすン]をク

戻る
取り込む

5.4. テストケース作成

テストスイートの作成を終えたら、テストケースの追加を行います。ケースの追加方法は 2 種類 (オンライン編集・エクセルインポート) あります。

5.4.1. オンライン編集

WEB 画面上でテストケースの追加を行います。

- 作成したテストスイートを開きます。

サンプルスイート2 - 1.0のテストケース編集

	優先度▼	項目1▼	項目2▼	項目3▼	項目4▼
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- (2) 各項目に直接入力を行えます。入力内容は自動で保存されます。

サンプルシート2-1.0のテストケース編集

	優先度▼	項目1▼	項目2▼	項目3▼	項目4▼
1	A	サンプルデータ			
2	B				
3	C				
4	A				
5	A				
6					

- (3) Excel のオートフィルのように簡単にコピーができます。

サンプルシート2-1.0のテストケース編集

	優先度▼	項目1▼	項目2▼	項目3▼	項目4▼
1	A	サンプルデータ			
2	B	サンプルデータ			
3	C	サンプルデータ			
4	A	サンプルデータ			
5	A	サンプルデータ			
6					
7					

- (4) Excel からコピーしてそのまま貼り付けることも可能です。

新規 Microsoft Excel ワークシート.xlsx - Excel

	A	B	C	D	E
1	A	セルをドラッグ&ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考セルのフィルハンドルを選択しドラッグ&ドロップする	・セルがコピーされること
2	A	Deleteを押下した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考を選択しDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること
3	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること
4	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること
5	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと		・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること

テストサイトのテストケース

サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

	優先度▼	項目1▼	項目2▼	項目3▼	項目4▼
235	A	セルをドラッグ&ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考セルのフィルハンドルを選択しドラッグ&ドロップする	・セルがコピーされること
236	A	Deleteを押下した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考を選択しDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること
237	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること
238	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること
239	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと		・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること
240	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・テスト実施日を期間に含むフェーズが1件もないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・実施中のテストフェーズに表示されないこと
241	A	完了したテストフェーズが存在しない場合	・フェーズ終了日がテスト実施日より前のフェーズが存在しないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・完了したテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること

5.5. テストスイート設定を変更・削除する

テストスイートの情報を変更・削除する方法を説明します。テストスイートの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

5.5.1. テストスイート設定を変更する

- (1) テストスイート一覧画面から変更したいテストスイート名横の設定リンクをクリックします。

テストスイート一覧

キーワードタグ

名前を検索

検索

タグリスト

excelインポート

+テストスイート追加

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 □ 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	240件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 □ 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	600件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 □ 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_通信機能テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 ○ 直近の実行時間: 未集計 □ 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル 編集

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

5.5.2. テストスイートを削除する

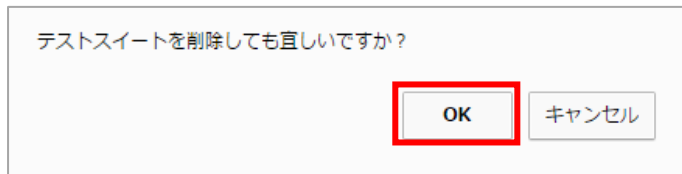
テストスイートの削除はテストスイート設定画面から行うことができます。テストスイートを削除するとそのテストスイートが持つバージョン情報も全て削除されます。

- (1) テストスイート設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

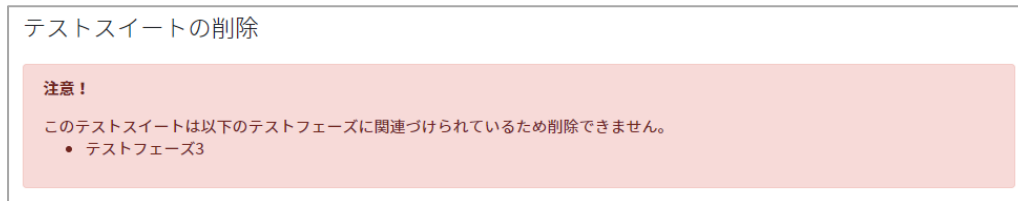
テストスイートの削除

注意！
テストスイートを削除すると関連するテストケースも全て消去されます。
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※いずれかのバージョンがテストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。



5.6. テストスイートにヘッダを追加する

テストスイートのヘッダ行を追加しカスタマイズすることができます。※7 行までを推奨しています

- (1) テストスイート一覧から追加ヘッダ設定をクリックします。



- (2) 追加ヘッダは JSON 形式で入力することができます。

テストスイートの追加ヘッダ設定

追加ヘッダ設定
ヘルプ

```

1  [
2  ]

```

プレビュー

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考

更新する

(3) 入力を行うと実際に表示される形式でプレビューができます。

追加ヘッダ設定
ヘルプ

```

1  [
2  ["sample1_1", "sample1_2", "sample1_3", "sample1_4"],
3  ["sample2_1", {"label": "sample_2_2", "colspan": 3}, "sample2_5"]
4  ]

```

プレビュー

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4							
sample2_1	sample_2_2			sample2_5						
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID

更新する

※入力方法が不明な場合は画面右上のヘルプをご参照ください。

(4) 追加したヘッダはテストサイクルにも反映されます。

	sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4		
	sample2_1	sample2_2	sample2_3	sample2_4	sample2_5	
	優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること
6	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること

5.7. 新しいバージョンのテストスイートを作成する

テストスイートは複製してバージョン管理することができます。既にあるテストスイートを元に変更を行いたい場合や、前回のテストから一部のテストケースを抜粋してテストしたい時などに使用できます。

5.7.1. 新しいバージョンの基本設定

(1) テストスイート一覧から元にしたテストスイートバージョンのコピーボタンを押します。

テストスイート一覧				タグリスト	excelインポート	+ テストスイート追加
キーワード タグ		名前を検索		検索		
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース			
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	240件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	600件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_通信機能テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル	編集	

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

1.0をもとにして新しいバージョンを作成します。よろしいですか？

OK

キャンセル

- (3) コピーしたテストスイートのバージョン設定画面に遷移したら、任意のバージョン名を入力します。

テストスイートサンプル_リリース前試験のバージョン設定

基本設定

* バージョン名

1.0

タグ

①タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス

利用可

備考

5.7.2. テストスイートバージョンにタグ付けをする

テストスイートへタグを設定することで、大量にあるテストスイートも管理しやすくなります。

- (1) タグはカンマ区切りで複数設定することができます。

基本設定

* バージョン名

1.0

タグ

テストA,サンプルB,デモC

①タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス

利用可

備考

(2) 入力が終わったら更新ボタンを押します。

(3) テストスイート一覧に入力したタグが表示されるようになります。

テストスイート一覧				タグリスト	excelインポート	+テストスイート追加
キーワード タグ		名前を検索		検索		
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース			
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 テストA サンプルB デモC 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx		240件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 テストA 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	600件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 サンプルB 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_通信機能テスト 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 デモC 直近の実行時間: 未集計 作成日時: 2019/03/18 14:45 設定 コピー xlsx	QFuser40	2160件	カバレッジパネル	編集	

(4) キーワード検索横のタグのタブをクリックすることで、タブ名で検索し絞り込むことができます。※タグを検索する場合は完全一致である必要があります。

テストスイート一覧

キーワード タグ

タグで検索

検索

(5) また、テストスイート一覧の右上にあるタグリストから絞り込むことも可能です。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート +テストスイート追加

キーワード タグ

名前を検索

検索

(6) タグリストから絞り込みたいタグ名をクリックします。

5.8. テストスイートバージョン設定を変更・削除する

テストスイートのバージョンはバージョン毎に設定画面から削除することができます。

- (1) バージョン設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

テストスイートバージョンの削除

注意！
テストスイートバージョンを削除すると関連するテストケースも全て消去されます。
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

2.0 コピーを削除しても宜しいですか？

OK

キャンセル

※テストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートバージョンを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。

テストスイートバージョンの削除

注意！
このテストスイートバージョンは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- テストフェーズ2
- テストフェーズ1

5.9. テストスイートをロックする

作成したテストスイートはロックをかけることができます。ロックのかかったテストスイートは編集ができず、閲覧のみが可能となります。テナント管理者またはプロジェクト管理者がロック・ロック解除をすることができます。

- (1) ロックしたいテストスイートのバージョンの設定画面を開きます。

- (3) 一言メモは任意でご入力いただけます。
- (4) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする ☒

一言メモ

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

- (5) テストスイート一覧のバージョン名横に鍵マークが表示され、対象のテストスイートは閲覧のみが可能となります。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート +テストスイート追加

キーワード タグ

名前検索 検索

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0	QFuser40	240件

カバレッジパネル 閲覧

5.10. テストスイートをダウンロードする

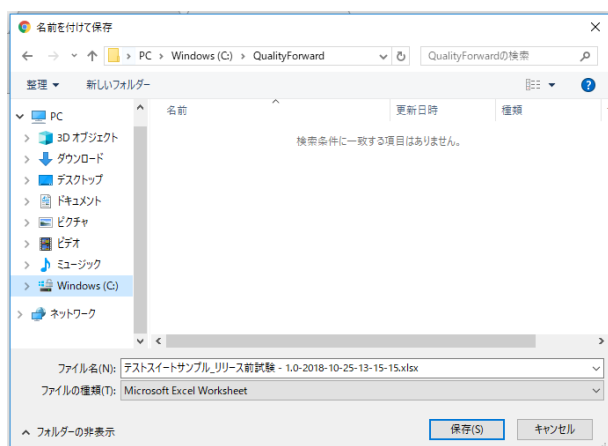
オンラインで作成したテストケースは Excel 形式でダウンロードして保存しておくことが可能です。

- (1) テストスイート一覧画面を開き、ダウンロードしたいテストスイートのバージョン下部にあ

るxlsxをクリックします。

テストスイート一覧					excelインポート	+ テストスイート追加
名前で検索		検索				
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース			
【CP】 【画面確認テスト】 詳細設計 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QFuser21	56件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QFuser21	240件	カバレッジパネル	編集	

- (2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、ファイル名を入力し保存ボタンを押します。



5.11. カバレッジパネルを利用する

作成したテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在するかを確認できます。このカバレッジパネルはテストの進捗には影響されません。

- (1) テストスイート一覧で確認したいテストスイートの設定画面を開きます。

テストスイート一覧					excelインポート	+ テストスイート追加
名前で検索		検索				
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース			
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	240件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	600件	カバレッジパネル	編集	
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定	利用可 1.0 の直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	2160件	カバレッジパネル	編集	

- (2) カバレッジパネルの集計に利用する項目を選択します。

カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

対象のカラム

指定なし

項目1

項目2

項目3

項目4

項目5

項目6

項目7

テスト結果の

項目1のラベル

- (3) テストスイート一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

テストスイート一覧

名前を検索

検索

excel-インポート

+ テストスイート追加

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース	
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定	利用可 1.0 直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	240件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定	利用可 1.0 直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	600件	カバレッジパネル 編集
テストスイートサンプル_画面遷移テスト 設定	利用可 1.0 直近の実行時間：未集計 設定 コピー xlsx	QualityForward	2160件	カバレッジパネル 編集

- (4) カバレッジパネルが表示されます。ここで集計されている件数はテスト対象(優先度の入力がある)となるテストケース数です。

テストスイートサンプル_リリース前試験 - 1.0 のカバレッジパネル

機能Aが実行できる状態にする	機能Cが実行できる状態にする	機能Dが実行できる状態にする
機能Bが実行できる状態にする 45件 機能Bが実行できる状態にする	機能Eが実行できる状態にする	

第6章 テストフェーズの管理

本章では、テストを進めていく際のフェーズの管理について説明します。

6.1. テストフェーズを作成する

テストサイクルを管理するためのテストフェーズの作成方法について説明します。設定は後から変更可能です。

6.1.1. テストフェーズの基本設定

(1) ダッシュボード画面左のメニューからテストフェーズのリンクをクリックします。

The screenshot shows the QualityForward dashboard for a 'QF サンプルプロジェクト'. The left sidebar contains a menu with the following items: 'ダッシュボード', 'テストスイート', 'テストフェーズ' (highlighted with a red box), 'レポート', and 'チームWiki'. The main content area displays 'QF サンプルプロジェクト' with a description and two bullet points. Below this, there are sections for '実施中のテストフェーズ' (currently empty), '最近完了したテストフェーズ' (listing 'サンプルフェーズ2' and 'サンプルフェーズ' with progress bars), '実施中のテストサイクル' (listing 'テストサイクル1'), 'チェック待ちのテストサイクル', and '最近完了したテストサイクル' (listing 'サンプルサイクル').

(2) テストフェーズ一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。

The screenshot shows the 'テストフェーズ一覧' screen. At the top right, there is a green button labeled '+ テストフェーズ追加' (highlighted with a red box). Below the button is a table with the following headers: 'テストフェーズ名', '進行状況', '対象のテストスイート', and 'テストサイクル'.

(3) テストフェーズの基本情報を入力します。

テストフェーズの新規追加

基本設定

※ テストフェーズ名

※ フェーズ開始日

※ フェーズ終了日

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

☐ 紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

(4) 紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成するチェックボックスをオンにしてテストフェーズを作成すると、紐付けたテストスイートそれぞれのテストサイクルが1件ずつ自動で作成されます。

テストフェーズの新規追加

基本設定

※ テストフェーズ名

※ フェーズ開始日

※ フェーズ終了日

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

☒ 紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

6.1.2. 対象のテストスイートバージョンを設定する

テストフェーズに紐付けるテストスイートバージョンを選択します。ステータスが利用可となっているテストスイートバージョンが表示されます。

テストスイートの紐付け

※ 対象のテストスイート

☒ サンプルスイート2 - 1.0

☐ サンプルスイート1 - 1.0

☐ サンプルテスト - 1.0

6.2. BTS 連携を行う

ご使用の BTS を選択し、レポート機能と連携設定することができます。

社内ネットワークを使用されている場合、外部のシステムである QualityForward からのアクセスを弾かれてしまう場合がございます。その場合は以下の IP アドレスからのアクセスを許可していただく必要がございます。

QualityForward IP アドレス

13.112.115.12

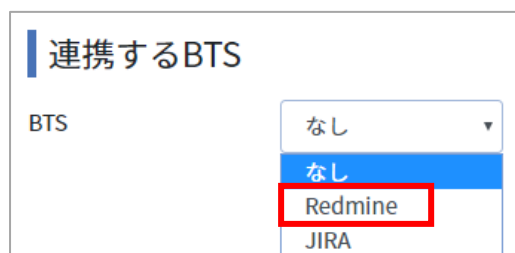
13.113.53.12

52.197.246.217

52.197.44.200

6.2.1. Redmine と連携する

連携する BTS で「Redmine」を選択すると Redmine に連携するための設定項目が表示されます。



連携するBTS

BTS

なし

なし

Redmine

JIRA

連携するBTS

BTS

Redmine

ベースURL

例：https://xxx/?key=yyyy

①レポート画面での redmine へのリンクなどに利用します。

バグ曲線、グラフデータ取得用URL

例：https://xxx/projects/test/issues.json?key=yyyy&query_id=x

①バグ情報の取得に利用します。事前にすべてのチケットのjsonが取得できることをご確認ください

最近のインシデント取得用URL

例：https://xxx/projects/test/issues.json?key=yyyy&query_id=y

①レポート画面での最近のインシデント情報の表示に利用します。事前にレポート画面に表示したい内容のjsonが取得できることをご確認ください

登録する

6.2.2. Redmine のベース URL を設定する

Redmine のベース URL の入力を行います。ベース URL はバグの優先度設定の取得、および「最近のインシデント一覧」のチケットのリンク生成のため利用します。

ベース URL は、Redmine のルートにあたる URL を指し、[https://xxxxxx.xxxx/] の場合と [https://xxxxxx.xxxx/redmine/] である場合の 2 パターンあります。URL の後には「?key=API キー」を指定します。

ベースURL

例：https://xxx/?key=yyyy

①レポート画面での redmine へのリンクなどに利用します。

API キーは Redmine の個人設定から取得することができます。手順は以下の通りです。

- Redmine にログインし、個人設定を開きます。
- API アクセスキーの表示をクリックすると API キーが表示されます。

Atomアクセスキー

Atomアクセスキーは9ヶ月前に作成されました (リセット)

APIアクセスキー

表示

APIアクセスキーは約1年前に作成されました (リセット)

6.2.3. バグ一覧取得用の URL を設定する

バグ取得用の URL の入力を行います。バグ曲線、優先度別グラフ、ステータス別グラフを描画するため、指定された範囲におけるバグの OPEN/CLOSE 数の取得に利用します。

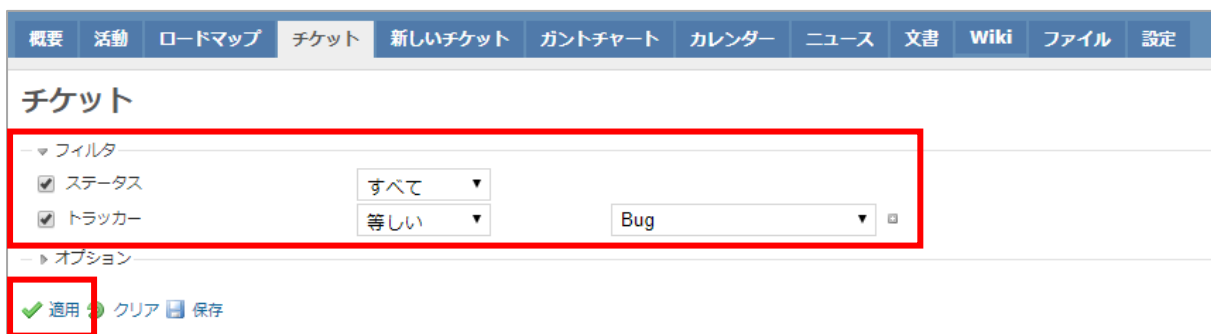
Redmine連携

バグ一覧の取得用URL

例: https://xxx/projects/test/issues.json?key=yyyy&query_id=z

①事前にブラウザでアクセスして、すべてのチケットのjsonが取得できることをご確認ください

- (1) Redmine の個人設定から API キーを取得します。
- (2) Redmine の対象のプロジェクト開き、URL を取得します。
例) <https://xxx.xxxx/projects/xxxx/>
- (3) 手順(2)で取得した URL に「issues.json?key=API キー」を追加します。
例) <https://xxx.xxxx/projects/xxxx/issues.json?key=xxxx>
- (4) Redmine で対象チケットの絞り込みを行います。バグ一覧を取得するために「すべて」の「バグ」を対象にし、適用ボタンを押します。



Redmine のチケット管理画面の「チケット」タブが選択されています。フィルタセクションには、ステータスが「すべて」、トラッカーが「等しい」、バグタイプが「Bug」に設定されています。下部の「適用」ボタンが赤い枠で囲まれています。

※ここでは「すべて」の「バグ」を対象にしていますが、フィルタ条件はプロジェクト方針に合わせて自由に設定していただけます。

- (5) すべてのバグの一覧が表示されたら保存ボタンを押します。

概要 活動 ロードマップ チケット 新しいチケット ガントチャート カレンダー ニュース 文書 Wiki ファイル 設定

チケット

▼ フィルタ

☒ ステータス すべて ▼

☒ トラッカー 等しい ▼ Bug ▼

▶ オプション

✓ 適用 🔄 クリア **保存**

(6) 新しいクエリに名前を付けて保存します。

新しいクエリ

名称

表示 ☒ 自分のみ
☐ すべてのユーザー
☐ 次のロールのみ:
☐ Manager
☐ Developer
☐ Reporter

全プロジェクト向け ☐

オプション

デフォルトの項目 ☒

グループ条件 ▼

表示 ☐ 説明

合計 ☐ 予定工数 ☐ 作業時間

フィルタ

☒ ステータス すべて ▼

☒ トラッカー 等しい ▼ Bug ▼

ソート条件

1: ▼ ▼

2: ▼ ▼

3: ▼ ▼

保存

(7) チケット一覧右側のカスタムクエリ一覧に手順(6)で作成したクエリが表示されます。作成したクエリ名をクリックします。

チケット

[すべてのチケットを表示](#)

[サマリー](#)

[カレンダー](#)

[ガントチャート](#)

[インポート](#)

カスタムクエリ

全てのバグ

- (8) URL の最後にクエリ ID が表示されるので、「query_id=xx」をコピーします。

/issues?query_id=25

- (9) 手順(3)までで作成した URL の最後に手順(8)の「&query_id=xx」を入力します。

例)https://xxx.xxxx/projects/xxxx/issues.json?key=xxxx&query_id=xx

- (10) 手順(9)でできた URL をブラウザのアドレス欄に直接入力します。json の取得が確認できたら URL を登録欄に入力し、登録ボタンを押します。

6.2.4. 最近のインシデント取得用 URL を設定する

最近のインシデント取得用 URL「最近のインシデント一覧」画面を生成するため、指定された範囲のバグのタイトル、優先度、ステータスを取得します。

最近のインシデント 取得用URL	https://52.192.33.158/projects/aegis/issues.json?key=e70f69a8af219bb560f1f9a441d8d2e05d1ef9ba ①レポート画面での最近のインシデント情報の表示に利用します。事前にレポート画面に表示したい内容のjsonが取得できることをご確認ください
---------------------	---

※URL の取得は手順 6.1.4.と同様に行います。

※バグ一覧取得用 URL と最近のインシデント取得用 URL が個別に設定可能なのは、プロジェクトによって取得したい先のフィルタが異なる場合にも対応するためです。
集計したいバグの範囲が同一の場合には、同一の指定で問題ありません。

6.2.5. JIRA と連携する

連携する BTS で「JIRA」を選択すると JIRA に連携するための設定項目が表示されます。

連携するBTS	
BTS	なし ▼ なし Redmine JIRA

6.2.6. JIRA のユーザ名とパスワードを入力する

情報を取得するために、JIRA に登録済みのユーザ名とパスワードを入力します。

ユーザ名	ユーザ名
パスワード	パスワード

6.2.7. JIRA の URL ・ コンテキストパスを設定する

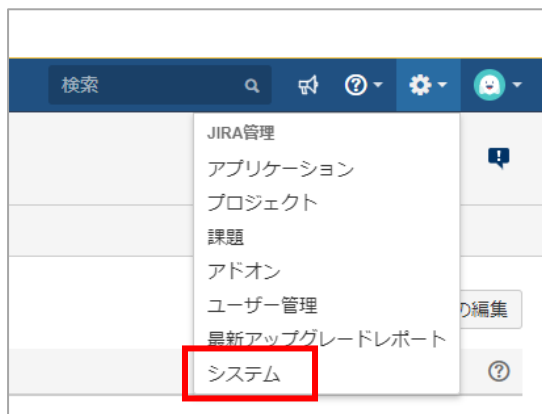
取得したい課題の登録されたプロジェクトを含む JIRA の URL を設定します。コンテキストパスは JIRA 側で設定を行っている場合にのみ入力してください。

※コンテキストパスは「/xxx」の形式で入力してください。

JIRAのURL	例：https://xxx.jp/
コンテキストパス	例：/jira

①JIRA側で設定してる場合にのみ入力してください

(1) JIRA の管理メニューからシステムを選択します。



(2) 一般設定を開きます。

JIRA ダッシュボード プロジェクト 課題 ボード 作成

管理 🔍 JIRA 管理の検索

アプリケーション プロジェクト 課題 アドオン ユーザー管理 最新アップグレードレポート システム

一般設定

管理ツールをさらに検索

システムサポート

システム情報

インストールメンテナー

データベース監視

整合性チェッカー

ログとプロファイルの作成

スケジューラー情報

トラブルシューティングとサポートツール

監査ログ

設定

一般設定

タイトル	QFJIRA
モード	非公開
認証の最大試行回数	3
サインアップ時に CAPTCHA を使用	オフ
ベース URL	http://jira-eval.vtsuite.net:8080
メールの差出人	\${fullname} (JIRA)
概要	
多言語対応	

(3) 一般設定内にあるベース URL をコピーし、JIRA の URL に入力します。

設定

一般設定

タイトル	QFJIRA
モード	非公開
認証の最大試行回数	3
サインアップ時に CAPTCHA を使用	オフ
ベース URL	http://jira-eval.vtsuite.net:8080
メールの差出人	\${fullname} (JIRA)
概要	
多言語対応	

6.2.8. JQL を設定する

取得するプロジェクトや課題のタイプなどを絞り込むために JQL を設定する必要があります。
未設定の場合は JIRA に登録されている全てのプロジェクト、課題が対象となります。

JQL	例: project="QF1"
🔍 バグ情報の取得に利用します。事前にすべてのIssueが「新しい順で」取得できることをご確認ください	

例) 特定のプロジェクトを対象とする場合は project="xxxxx"

例) 特定の課題タイプを対象とする場合は issueType = "xxx"

6.2.9. バグやクローズの文字列を設定する

バグの OPEN・CLOSE を集計する際に、どの課題タイプをバグとみなすか、どのステータスで完了とするかを設定することができます。

バグとみなすタイプ文字列に指定した課題タイプがレポート画面に表示される対象の課題となります。

バグとみなすタイプ 文字列	例: バグ,不具合 ①カンマ区切りで複数の文字列を指定することができます
クローズとみなすス テータス文字列	例: 完了,修正済み ①カンマ区切りで複数の文字列を指定することができます

(1) JIRA の管理メニューから課題を選択します。



(2) 課題タイプを開きます。バグとみなすタイプ文字列はこの課題タイプの名前を指定します。

管理 JIRA 管理の検索

アプリケーション プロジェクト 課題 アドオン ユーザー管理 最新アップグレードレポート システム

課題タイプ

課題タイプ

課題タイプスキーム

サブタスク

ワークフロー

ワークフロー

ワークフロースキーム

画面

画面

画面スキーム

課題タイプ画面スキーム

フィールド

カスタムフィールド

フィールド構成

フィールド構成スキーム

課題の機能

時間のトラッキング

課題のリンク

課題の属性

ステータス

解決状況

解決状況

課題タイプ

名前

タイプ

関連スキーム

アクション

Epic

JIRA Softwareにより作成 - 編集 - 削除しないでください。分類の必要がある大きなユーザー ストーリー向けの課題タイプです。

Standard

Default Issue Type Scheme

QF1: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF3: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF4: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF5: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

SC1: スクラム課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

Story

JIRA Softwareにより作成 - 編集 - 削除しないでください。ユーザーのストーリーの課題タイプです。

Standard

Default Issue Type Scheme

SC1: スクラム課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

ストーリー

JIRA Softwareにより作成 - 編集 - 削除しないでください。ユーザーのストーリーの課題タイプです。

Standard

SC1: スクラム課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

タスク

行うべきタスクを表します。

Standard

QF1: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF2: タスク管理 課題タイプスキーム

QF3: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF4: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF5: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

SC1: スクラム課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

バグ

製品の機能を損なったり阻害する問題を表します。

Standard

QF1: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF3: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF4: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF5: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

SC1: スクラム課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

改善

既存の機能またはタスクに対する改善事項を表します。

Standard

QF1: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF3: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF4: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

QF5: ソフトウェア開発 課題タイプスキーム

編集 削除 翻訳

(3) 課題タイプメニューからステータスを開きます。クローズとみなすステータス文字列はこのステータスの名前を指定します。

管理 JIRA 管理の検索

アプリケーション プロジェクト 課題 アドオン ユーザー管理 最新アップグレードレポート システム

課題タイプ

課題タイプ

課題タイプスキーム

サブタスク

ワークフロー

ワークフロー

ワークフロースキーム

画面

画面

画面スキーム

課題タイプ画面スキーム

フィールド

カスタムフィールド

フィールド構成

フィールド構成スキーム

課題の機能

時間のトラッキング

課題のリンク

課題の属性

ステータス

解決状況

解決状況

ステータス

名前

カテゴリ

ワークフロー

順序

アクション

オープン

課題がオープンになっており、担当者が作業を開始できる状態を表します。

To Do

2件の関連ワークフロー

↓

編集

進行中

この課題は担当者によって現在作業が進められていることを表します。

進行中

7件の関連ワークフロー

↑

編集

再オープン

課題が一度解決されたが解決に間違いがあったと見なされたことを表します。ここから課題を割り当て済みにするか解決済みに設定できます。

To Do

2件の関連ワークフロー

↑

編集

解決済み

解決され、報告者からの確認を待っている状態を表します。ここから課題を再オープンにするかクローズに設定できます。

完了

2件の関連ワークフロー

↑

編集

クローズ

課題の検討が終了し、解決方法が正しいことを表します。クローズした課題は再オープンすることができます。

完了

2件の関連ワークフロー

↑

編集

To Do

6件の関連ワークフロー

↑

編集

In Review

4件の関連ワークフロー

↑

編集

完了

6件の関連ワークフロー

↑

編集

※課題が一部しか表示されない場合は `jira.search.views.default.max` の値を確認してください

※JIRA との接続に失敗する場合は以下の項目を確認してください

1. ログインに失敗する場合は JIRA で直接ログインをした後に連携設定を試みてください
(JIRA のログインを複数回失敗すると CAPTCHA 認証が必要となります)
2. プロジェクト設定権限があることを確認してください
3. JIRA の認証設定が BASIC 認証となっていることを確認してください

6.3. テストフェーズ設定を変更・削除する

テストフェーズの情報を変更・削除する方法を説明します。テストフェーズの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

6.3.1. テストフェーズ設定を変更する

- (1) テストフェーズ一覧画面から変更したいテストフェーズ名横の設定リンクをクリックします。

テストフェーズ一覧				+ テストフェーズ追加
名前で検索		検索		
テストフェーズ名 ▲	進行状況	対象のテストスイート	テストサイクル	
αリリース向けテストフェーズ東京 2018/02/13 ~ 2018/03/14	2045/2160 (94%)	テストスイートサンプル_通信機能テスト-1.0	0件	サイクル一覧
設定		テストスイートサンプル_画面遷移テスト-1.0	1件	サイクル一覧

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

6.3.2. テストフェーズを削除する

テストフェーズの削除はテストフェーズ設定画面から行います。

- (1) テストフェーズ設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

テストフェーズの削除

注意！

テストフェーズを削除すると関連するテストサイクルのデータが全て消去されます。
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

(2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

サンプルフェーズを削除しても宜しいですか？

OK

キャンセル

第7章 テストサイクルの管理

本章では、テストフェーズに紐付けたテストスイートに対して実際にテスト結果を記入していく＝テストを実行していくための、実行単位のテストサイクルについて説明します。1 つ以上のテスト実行単位(テストサイクル)を包含する「テストフェーズ」を定義し、テストフェーズに紐付けたテストスイートごとに、テストサイクルを作成することで、テスト実行が可能になります。

7.1. テストサイクルを作成する

本項ではテストを実行するためのテストサイクルを作成する方法について説明します。設定は後から変更可能です。

※テストフェーズ新規作成時に自動生成チェックをオンにした場合、1 件目のテストサイクルは自動で生成されます。

- (1) テストフェーズ一覧画面から、テストサイクルを追加したいテストフェーズのサイクルー覧ボタンを押します。

テストフェーズ一覧

名前を検索 検索

+テストフェーズ追加

テストフェーズ名 ▲	進行状況	対象のテストスイート	テストサイクル
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2018/02/13 ~ 2018/03/14 🔧 設定	2045/2160 (94%)	テストスイートサンプル_通信機能テスト - 1.0	0件 サイクルー覧
		テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0	1件 サイクルー覧

- (2) テストサイクルー覧画面右上のテストサイクル追加ボタンを押します。

テストサイクルー覧

+テストサイクルを追加

テストサイクル名	対象の優先度	進行状況
----------	--------	------

- (3) テストサイクルの基本情報を設定します。

テストサイクルを開始する

*テストサイクル名

*サイクル開始日

*サイクル終了日

- (4) テストケースに設定されている優先度のうち、どの優先度を対象とするかを選択します。

*対象の優先度 ☐ A ☐ B ☐ C

登録する

- (5) 全ての入力を終わったら登録ボタンを押します。

7.2. 予実設定を管理する

テストの実施予測の設定をテストサイクル毎に行えます。設定したデータはレポート画面で収束曲線として表示されます。

7.2.1. 予実設定を入力する

ここで入力した進捗予想数は期限バーの件数へ反映されます。

- (1) テストサイクル一覧画面から、予実設定ボタンを押します。

テストサイクル一覧 + テストサイクルを追加

名前で検索 検索

テストサイクル名 ▲	対象の優先度	進行状況	
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト 📅 2019/04/25 🔗 設定 📄 進捗予想 📄 xlsx	A, B, C	0/2160 (0%)	▶ 開始 💬 コメント
完了 初回テスト 📅 2019/02/16 ~ 2019/03/17 🔗 設定 📄 予実設定 📄 xlsx	A, B, C	2160/2160 (100%)	👁 閲覧 💬 コメント

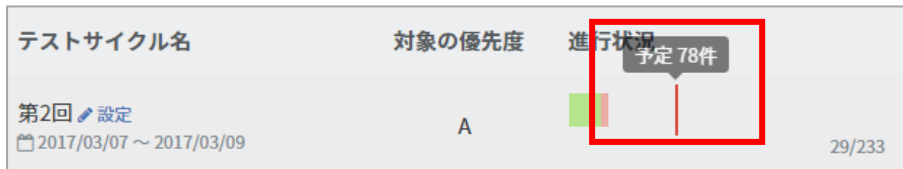
- (2) 欠陥予想 OPEN 数と欠陥予想 CLOSE 数、進捗予想数を入力します。

第2回(全234テストケース)の予実設定

	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予想
2017/03/07(火)	0	0	155
2017/03/08(水)	0	0	78
2017/03/09(木)	0	0	0

※入力内容はセルからカーソルが外れた時点で自動的に保存されます。

- (3) 進捗予想の入力により、期限バーの予定件数が変動します。



7.2.2. 予実設定を初期化する

入力した予実設定を元の状態に戻したい場合は、初期化ボタンで元に戻すことができます。

- (1) 予実入力欄の右上にある初期化ボタンを押します。

サンプルサイクル(全234テストケース)の予実設定				初期化
	欠陥予想OPEN	欠陥予想CLOSE	進捗予想	
2016/11/29(火)	0	0	218	
2016/11/30(水)	1	1	218	
2016/12/01(木)	2	2	218	
2016/12/02(金)	2	2	202	
2016/12/03(土)	4	4	187	
2016/12/04(日)	5	5	171	
2016/12/05(月)	6	6	156	

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

予実設定を初期化しても宜しいですか？

OK キャンセル

7.3. テストサイクル設定を変更・削除する

テストサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

※テストサイクル設定の変更にはプロジェクト管理者以上の権限が必要です

7.3.1. テストサイクル設定を変更する

- (1) テストサイクル一覧画面から変更したいテストサイクル名横の設定リンクをクリックします。

テストサイクル名	対象の優先度	進行状況
サンプルサイクル 設定	A, B, C	

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

7.3.2. テストサイクルを削除する

テストサイクルの削除はテストサイクル設定画面から行います。

- (1) テストサイクル設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

テストサイクルの削除

注意！

テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

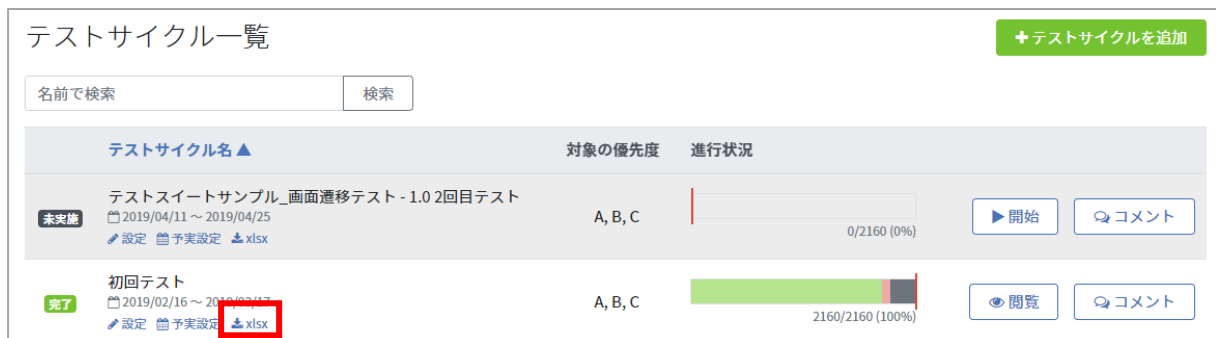
🗑 削除

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

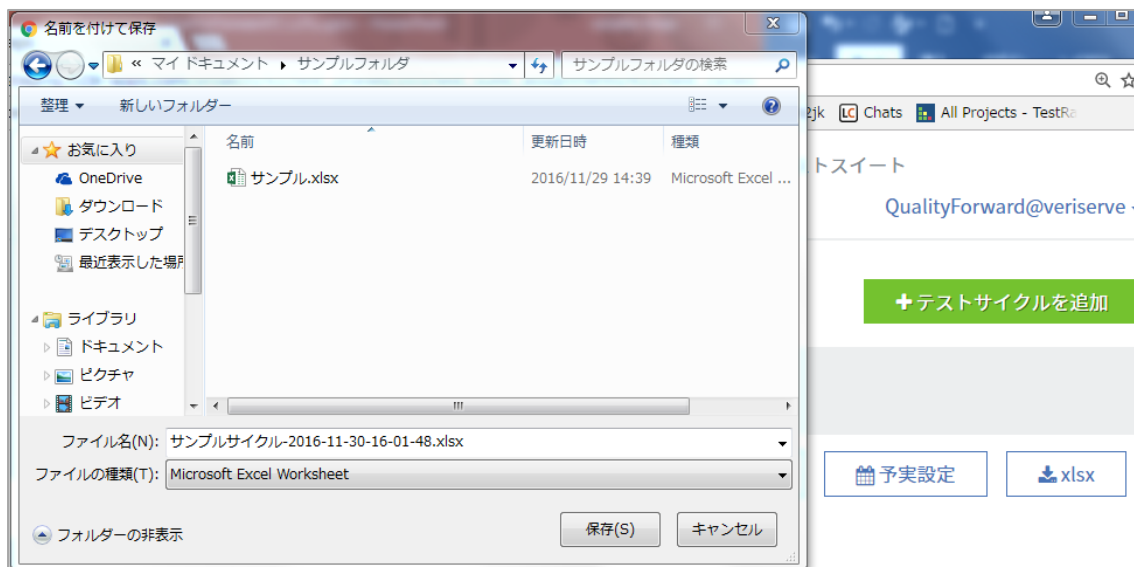
7.4. テストサイクルをエクスポートする

テスト結果はテストサイクル毎にエクセル形式でのダウンロードが可能です。

- (1) テストサイクル一覧画面からダウンロードしたいテストサイクルの xlsx ボタンを押します。



- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



第8章 実行管理

本章では、テスト実行の進め方と管理方法について説明します。

8.1. テストを実行する

テストスイート、テストフェーズ、テストサイクルの準備ができればテストの実行に入ります。

- (1) テストサイクル一覧画面から、実行したいテストの開始ボタンを押します。

テストサイクル一覧

名前検索 検索

+ テストサイクルを追加

テストサイクル名 ▲	対象の優先度	進行状況	
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト 📅 2019/04/11 ~ 2019/04/25 🔗 設定 📄 予実設定 📄 xlsx	A, B, C	0/2160 (0%)	▶ 開始 🗨️ コメント
完了 初回テスト 📅 2019/02/16 ~ 2019/03/17 🔗 設定 📄 予実設定 📄 xlsx	A, B, C	2160/2160 (100%)	👁️ 閲覧 🗨️ コメント

- (2) テスト結果はプルダウンで選択して入力できます。結果のラベルはプロジェクト作成時に設定したものが表示されます。

項目4 ▼	テスト実施者 ▼	テスト実施日 ▼	テスト結果 ▼	環境 ▼
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること			▼ PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A	
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること				
・エラーが発生せず、テストケー				

- (3) テスト結果を入力すると実施者と実施日が自動で入力されます。

テスト実施者 ▼	テスト実施日 ▼	テスト結果 ▼
QualityForward	2016/11/30	PASS

- (4) テスト環境、バグ ID、備考欄は自由に入力可能です。

環境	バグID	備考
Windows7 Chrome	#000	サンプルデータ

- (5) テストの実施状況はリアルタイムで更新されます。

トップ / 20190322最新アップデート / テストフェーズ一覧 / サンプルフェーズのサンプルスイート / サンプルスイート-1.0.1.0 10回目テスト

QF太郎

項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7
32	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<iframe>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
33	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<table>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
34	16			セル内に[HTMLタグ]が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに<list>タグが含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
35	16			文字コードでバイト数が変わる文字が含まれている場合	・インポートするエクセルファイルに[はっけの漢字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
36	16			[色つき文字]が含まれる場合	・インポートするエクセルファイルに[色つき文字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
37	16			[太字]が含まれる場合	・インポートするエクセルファイルに[太字]が含まれるケースが存在すること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする

レビュー依頼

101/101

- (6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	テスト実施者
		いる場合	Filter by value: Search... Select all Clear ☒ Deleteを押下した場合 ☒ HTML形式で入力して ☒ [5C文]が含まれている ☐ HTMLタグが含まれてい OK Cancel	ケックする 2.インポートするファイルをクリ ックする 3.[登録するボタン]をクリックする	一覧画面に遷移すること ・「○件のテストケースを追加 しました」と表示されること ・タグが反映されず文字として 認識されること	
33	A	セル内に[HTMLタグ]が含まれて いる場合		1)ファイルを選択ボタン]をクリ ックすること 2.インポートするファイルをクリ ックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケー ス一覧画面に遷移すること ・「○件のテストケースを追加 しました」と表示されること ・タグが反映されず文字として 認識されること	QualityForward

- (7) テキストでフィルタをかける場合は、一度 Clear をクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。

優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	テスト実施者
	いる場合	Filter by value: ID Select all Clear ☐ 存在する識別IDと同じ ☐ 存在する識別IDの間の ☐ 存在する識別ID以外 OK Cancel	ケックする 2.インポートするファイルをクリ ックする 3.[登録するボタン]をクリックする 1.ファイルを選択ボタン]をクリ ックする 2.インポートするファイルをクリ ックする 3.[登録するボタン]をクリックする	ス一覧画面に遷移すること ・「○件のテストケースを追加し ました」と表示されること ・タグが反映されずに文字として 認識されること ・エラーが発生せず、テストケー ス一覧画面に遷移すること ・「○件のテストケースを追加し ました」と表示されること ・タグが反映されずに文字として 認識されること	QualityForward

- (8) テストケース編集画面同様、テスト実行画面でもテキスト検索を行うことができます。
Ctrl+F を押し、検索したいキーワードを入力したら Enter を押してください。

トップ / 05.サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / テストフェーズ2のサンプルスイート1 / サンプルスイート1_1回目テスト							
操作							
ファイル 1/109							
	テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果
1	正しいファイルを取り込んだ場合	- インポートするエクセルの拡張子が.xlsxであること - テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	- エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「○件のテストケースを追加しました」と表示されること - インポートしたテストケースが全て表示されること			
2	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	- インポートするエクセルの拡張子が.xlsx以外であること - テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2017/12/01	PASS
3	設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	- 項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと - 項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	- エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「○件のテストケースを追加しました」と表示されること 2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2017/12/01	PASS
4	設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	- 項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと - 項目数が1つのテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする	- エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること 「○件のテストケースを追加しました」と表示されること	QualityForward	2017/12/01	SKIP

8.2. 文字列の配置を変更する

テスト実行画面のテストケースの文字配置を変更することができます。

- (1) 文字の配置を変更したいセルまたは列を選択し、右クリックします。

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する
2	A	16			

- (2) 変更したい配置を選択すると選択されているセルの文字の配置を変えることができます。

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合
2	A	16			
3	A	16			

8.3. 列の表示・非表示を切り替える

テスト実行中に表示する必要がない列は非表示にすることができます。

- (1) テスト実行画面で非表示にしたい列の項目名を右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				

- (2) 列を非表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				

- (3) 列を再表示する場合は、非表示になっている列の両隣の列を選択してから右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(4) 列を表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合 配置 列を表示 列を非表示
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

8.4. テスト結果補足の設定内容を確認する

プロジェクト設定でテスト結果補足を利用するチェックを on にした場合、実行画面からも確認することができます。

(1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果補足リンクを押します。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / oリリーステストフェーズ東京のテストスイートサンプル_画面遷移テスト / 初回テスト						操作▼	QualityForwa
	優先度▼	機能カテゴリ▼	テスト観点▼	事前条件▼	テスト手順	編集する	
1856	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする	機能C→機能B→機能Dの順で遷移する	テスト結果更新履歴	
1857	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする	機能C→機能B→機能Dの順で遷移する	備考を表示	
						関連ファイル	
						テスト結果補足	

(2) テスト結果補足に設定した内容を確認できます。

テスト結果補足に関して		×
PASS		
FAIL→PASS	FAIL から PASS へ変更	
SKIP→PASS	SKIP から PASS へ変更	
QA→PASS	QA から PASS へ変更	
FAIL		
Q&A→FAIL	Q&A から FAIL へ変更	
SKIP→FAIL	SKIP から FAIL へ変更	
SKIP		
FAIL→SKIP	FAIL から SKIP へ変更	

- (3) テスト結果が入力されている場合にテスト結果補足の入力を行うことができます。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2018/03/29	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2018/05/14	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	QualityForward	2018/03/29	FAIL		

FAIL → PASS
SKIP → PASS
QA → PASS

8.5. テストケースを編集する

テスト実行画面から、テストケースの編集画面へ遷移することができます。

- (1) テストケースの編集を行う場合、テスト実行画面上部の操作プルダウンから編集するリンクを押し編集画面へ進みます。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / oリリーステストフェーズ東京のテストスイートサンプル_画面遷移テスト / 初回テスト						操作	QualityForward
	優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	編集する	
1856	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする	機能C → 機能B → 機能Dの順で遷移する	テスト結果更新履歴	
1857	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Cが実行できる状態にする	機能C → 機能B → 機能Eの順で遷移する	備考を表示	
						関連ファイル	
						テスト結果補足	

- (2) テストケース編集はテストケース作成時と同様に自由に編集可能です。エクセルインポートで一括上書きも可能です。

※エクセルシートをインポート時に同じ識別 ID が存在する場合、既にあるデータにインポートデータが上書きされます。

注意！

このテストスイートには、既にテストサイクルが存在します。
このテストスイートのテストケースの編集や削除を行った場合、完了しているテストサイクルを含め関係するテストケースが書き換わります。（同じ識別IDの行が上書き、もしくは削除されます）。

誤字脱字やテスト手順の軽微な変更等を除き、テストスイートのアップデートには別名の新たなファイルをインポートしてください。

テストスイートのテストケース

+ テストケース取込

📄 サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

	優先度 ▼	項目1 ▼	項目2 ▼	項目3 ▼
1	A	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
2	A	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする
3	A	設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする

8.6. テスト結果をエクスポートする

テストサイクルで実行したテストの結果部分のエクスポートを行うことができます。

- (1) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のエクスポートを選択します。

スト / 初回テスト

操作

テストケースを編集

結果のインポート

結果のエクスポート

備考を表示

関連ファイル

テスト結果補足

テスト結果更新履歴

期待動作

テスト実施者

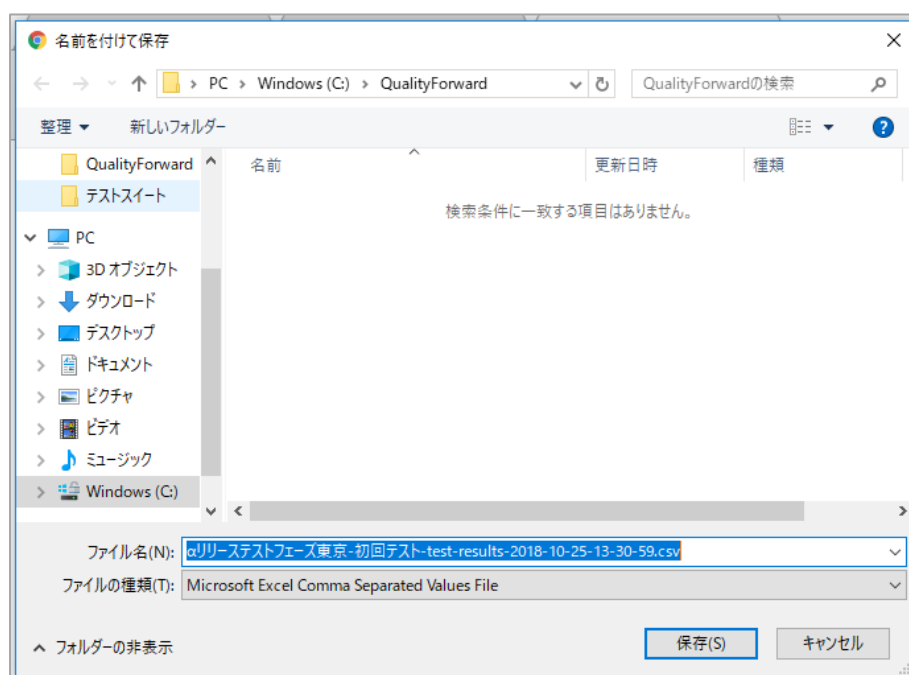
テスト実施日

テスト結果

テスト

機能A→機能B→機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能C 機能Dの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能D→機能E→機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能E→機能C→機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	

(2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、保存ボタンを押します。



(3) 以下のような形式でテスト結果がエクスポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				

8.7. テスト結果をインポートする

テスト結果インポートでは、まだ結果の入っていないテストサイクルに結果を書き込むことや、既に入力してあるテスト結果に対し上書きを行うことができます。

(1) 以下のように csv ファイルを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS			
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				

※対象の識別 ID に対し書き込みを行うため、識別 ID は正しく指定してください

※プロジェクトに存在しないユーザはインポートすることができません

※日付の形式は「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」です

※テスト結果、テスト結果補足は QualityForward 上の設定と、csv で指定した文字列が完全に一致している必要があります

(2) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のインポートを選択します。

スト / 初回テスト

✱ 操作

✎ テストケースを編集

📄 結果のインポート

📄 結果のエクスポート

📄 備考を表示

📄 関連ファイル

📄 テスト結果補足

📄 テスト結果更新履歴

QualityForward@QFサポートチーム

🔍

テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足
機能A→機能B→機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能C 機能Dの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A→機能B→機能D→機能E→機能C 機能Cの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること
機能A→機能B→機能E→機能C→機能D 機能Dの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること

- (3) テスト結果インポート画面が開いたら、手順(1)で作成した csv ファイルを指定し、登録するボタンを押します。

テスト結果のインポート

このテストサイクルでは以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
1行目（識別ID、優先度、機能カテゴリ、などのヘッダ行）は無視され、2行目から取り込まれます。

識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	user@example.com	2018/10/25 13:37:58	PASS	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...	...	...

* CSVファイル(.csv) 選択されていません

- (4) テスト結果がインポートされました。

	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
2	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
3	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
4	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
5	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
6	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
7	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
8	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
9	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能B → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS			
10	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能E → 機能Bの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Bが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
11	する 機能A → 機能C → 機能E → 機能B → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				

8.8. 掲示板でテスト状況の報告を行う

各テストサイクルには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり取りを行うことができます。

- (1) テストサイクル一覧からコメントボタンを押します。

テストサイクル一覧 + テストサイクルを追加

名前で検索

テストサイクル名 ▲	対象の優先度	進行状況	
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト 2019/04/11 ~ 2019/04/25 設定 予実設定 xlsx	A, B, C	0/2160 (0%)	▶ 開始 💬 コメント
完了 初回テスト 2019/02/16 ~ 2019/03/17 設定 予実設定 xlsx	A, B, C	2160/2160 (100%)	👁 閲覧 💬 コメント

- (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。コメントを投稿すると、対象のテストサイクル実施者へメールで通知されます。

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力


太郎テスト © 2019/04/04 17:27 言
 テスト2回目に入ります

- (3) コメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力


太郎テスト © 2019/04/04 17:27  言
 テスト2回目に入ります

- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

aegis-staging.n2jk-apps.com の内容

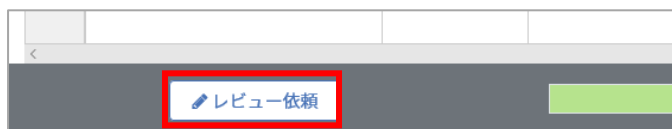
コメントを削除しても宜しいですか？

8.9. レビューを依頼する

テストが終わったらテスト実施者はレビュー依頼をすることができます。レビュー依頼をするとレビューワーに指定されたメールアドレスにレビュー依頼通知が送信され、レビュー待ちのテストサイクル一覧に対象のテストサイクルが表示されます。

- (1) 対象のテストサイクルの親となるテストフェーズの設定画面を開き、レビューワーのメールアドレスを確認します。レビューワーはいつでも追加、削除することができます。

- (2) レビュー依頼を出したいテスト実行画面最下部のレビュー依頼ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力し、送信ボタンを押します。

- (4) レビュー依頼やレビュー完了などの通知は、メールで通知された URL、またはテストサイクル一覧画面のコメントボタンから開ける掲示板にも記載されます。

【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が届きました 受信トレイ ×



no-reply@cloud.veriserve.co.jp

To 自分 ▼

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」に対するレビュー依頼が届きました。

■ メモ

テストが完了したため確認をお願いします。

■ テスト結果の確認はこちら

https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662

■ コメントをやり取りしたい場合はこちら

https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments

テストサイクル一覧

+ テストサイクルを追加

名前で検索

検索

テストサイクル名 ▲	対象の優先度	進行状況		
未実施 テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 2回目テスト 📅 2019/04/11 ~ 2019/04/25 🔗 設定 📄 予実設定 📄 xlsx	A, B, C	0/2160 (0%)	▶ 開始	💬 コメント
完了 初回テスト 📅 2019/02/16 ~ 2019/03/17 🔗 設定 📄 予実設定 📄 xlsx	A, B, C	2160/2160 (100%)	👁 閲覧	💬 コメント

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 🕒 2019/04/04 17:26



QualityForward

テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 🕒 2019/04/04 17:25



テスト花子

再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 🕒 2019/04/04 17:25



QualityForward

スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 🕒 2019/04/04 17:24



テスト花子

テストが完了したため確認をお願いします。

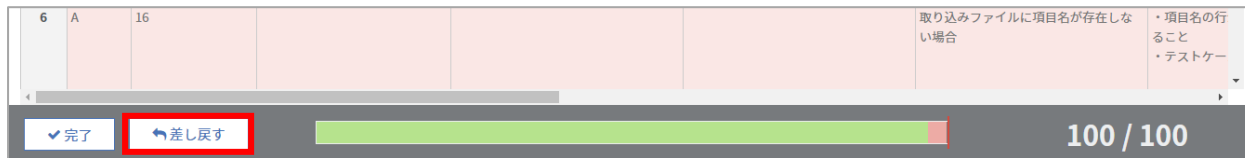
8.10. レビュー依頼を差し戻す

ダッシュボードでレビュー待ちのテストサイクルの一覧を確認できます。レビュー待ちのテスト

ケースに不備があった場合、テスト実施者へレビュー依頼の差し戻しを行います。

(1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。

(2) テスト実行画面最下部の差し戻すボタンを押します。



(3) 差し戻し理由を入力し、送信ボタンを押します。

A screenshot of a dialog box titled '差し戻し理由を記入してください' (Please enter the reason for return). Inside the dialog, there is a text area with the example text '例：スキップの数が多すぎるので再チェックして下さい' (Example: Please re-check because the number of skips is too large). At the bottom right of the dialog, there is a blue button labeled '送信' (Send), which is highlighted with a red rectangular box.

(4) テスト実施者へ差し戻しメールが送信され、掲示板にも差し戻しが通知されます。



サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26



QualityForward

テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25



テスト花子

再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25



QualityForward

スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24



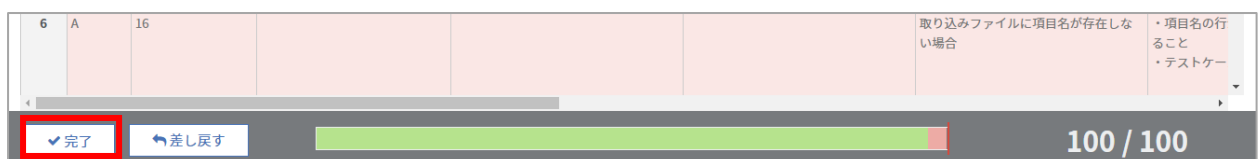
テスト花子

テストが完了したため確認をお願いします。

8.11. レビューを完了する

テスト実行結果に不備がなければ、テストサイクルを完了とさせることができます。レビューを完了したテストサイクルは閲覧専用となり、編集を行うことができません。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の完了ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力したら送信ボタンを押します。

差し戻し理由を記入してください

例：スキップの数が多すぎるので再チェックして下さい

送信

(4) レビュー完了通知がテスト実施者へ送信され、掲示板にもレビュー完了が通知されます。

【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビューが完了しました 受信トレイ x

no-reply@cloud.veriserve.co.jp
To qualityf.user+2

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」のレビューが完了しました。

- メモ
テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。
- テスト結果の確認はこちら
https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663
- コメントをやり取りしたい場合はこちら
https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663/test_cycle_comments

サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26

 **QualityForward**
テスト結果に問題がないことを確認しました。
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25

 **テスト花子**
再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25

 **QualityForward**
スキップの項目を確認してください

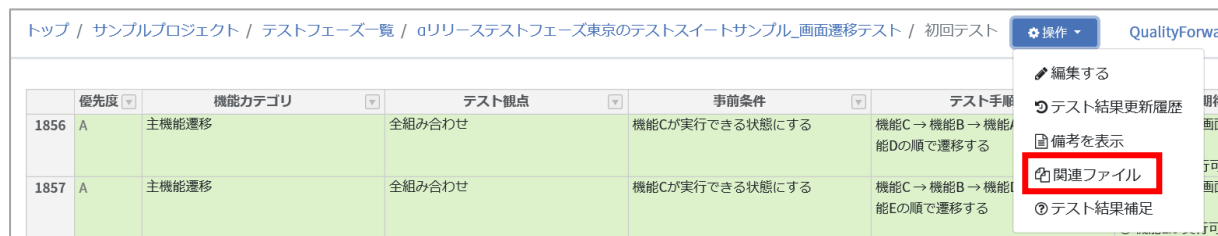
レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24

 **テスト花子**
テストが完了したため確認をお願いします。

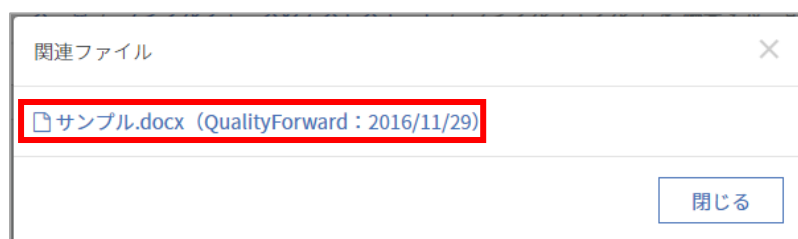
8.12. 関連ファイルを確認する

テストスイート作成時にアップロードした関連ファイルをテスト実行画面からダウンロードできます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンから関連ファイルをクリックします。



- (2) 関連ファイル一覧画面が表示されたら、ダウンロードしたいファイルをクリックします。



8.13. 実行時間を確認する

テストスイートに対し、テストが実行された時間の確認ができます。テストスイート一覧画面のテストスイート名の下に直近の実行時間が表示されます

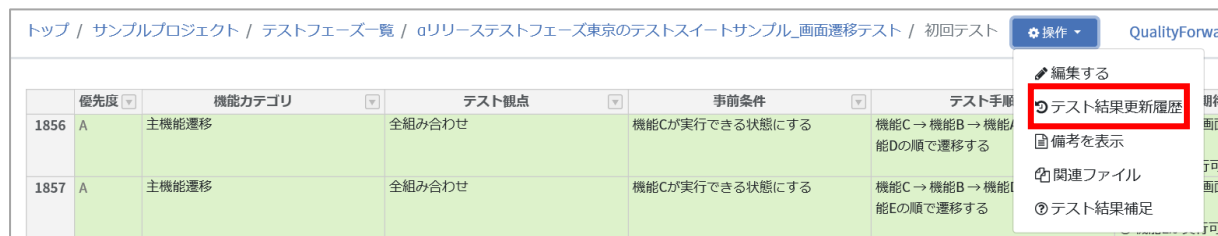


※実行時間はテスト実行のチェック依頼が完了になると算出されます。

8.14. 更新履歴管理

テスト結果の更新履歴を見ることができます。どのテストケースに対し、誰が・いつ・どのように変更を加えたかを一覧で表示します。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果更新履歴のリンクをクリックします。



- (2) テスト結果更新履歴の一覧が表示されます。更新履歴は最初の入力の後に更新が行われた場合のみ出力されます。



第9章 レポート管理

レポート画面ではプロジェクト全体、フェーズ毎のテスト実施予定数や進捗状況、欠陥数やクローズ数などをまとめて確認できます。

9.1. プロジェクト全体のレポート

プロジェクト全体の進捗状況をひと目で確認することができます。

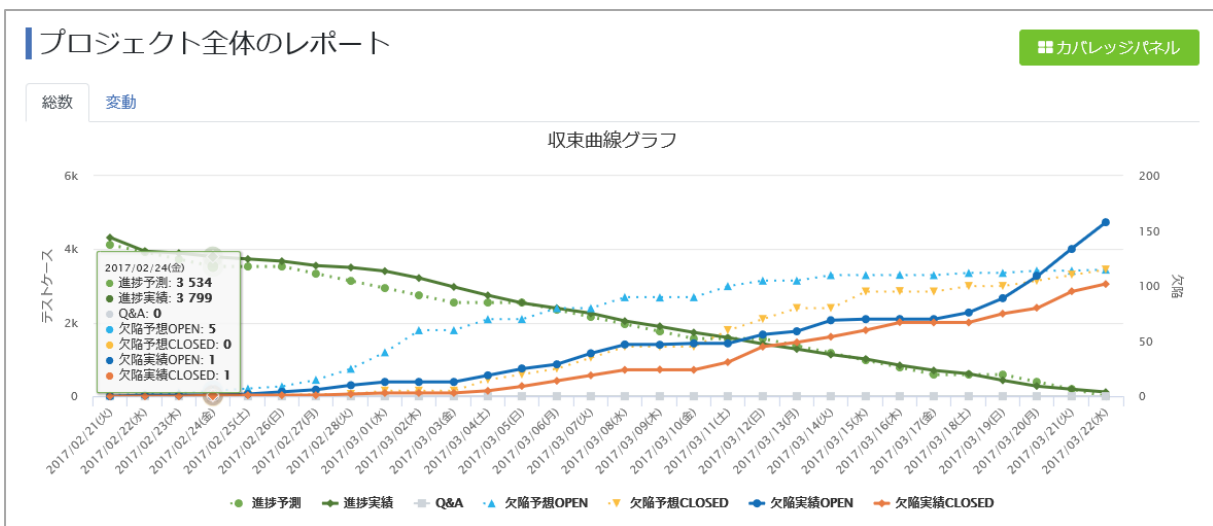
9.1.1. 収束曲線(総数)

予実設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、プロジェクト全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

(1) ダッシュボード画面左のメニューからレポートのリンクをクリックします。



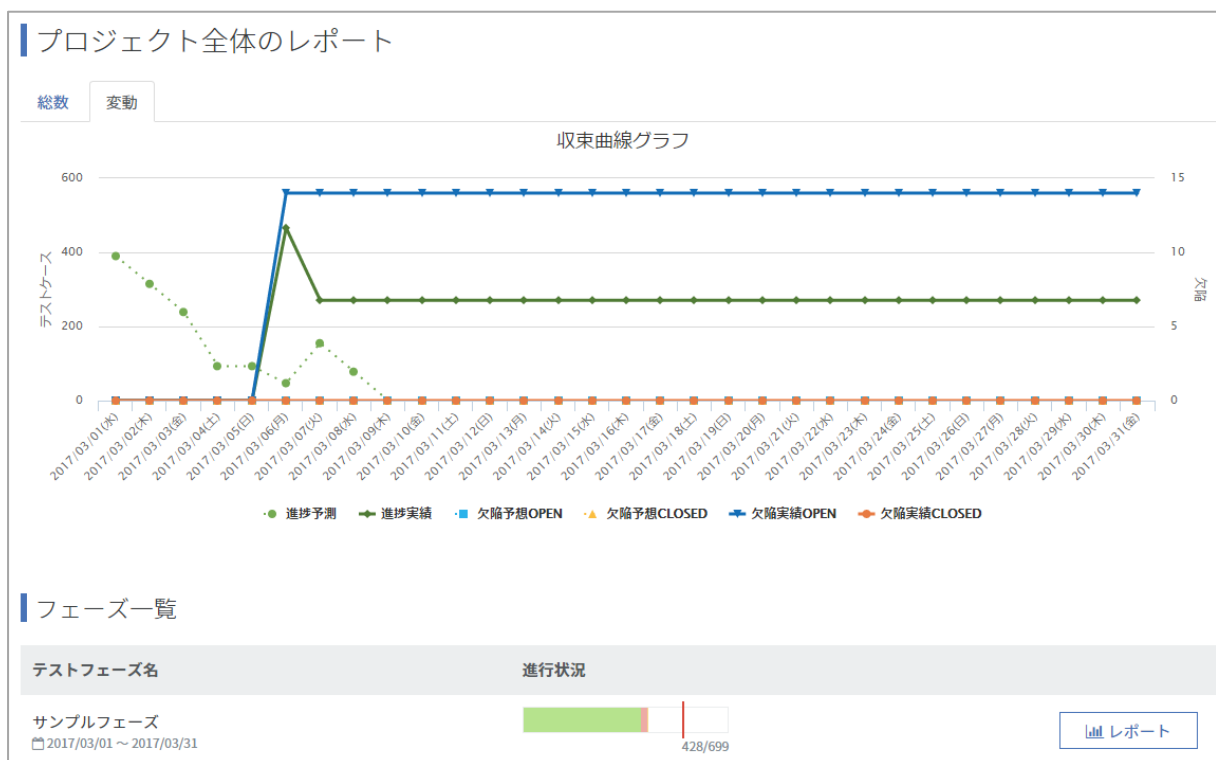
(2) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



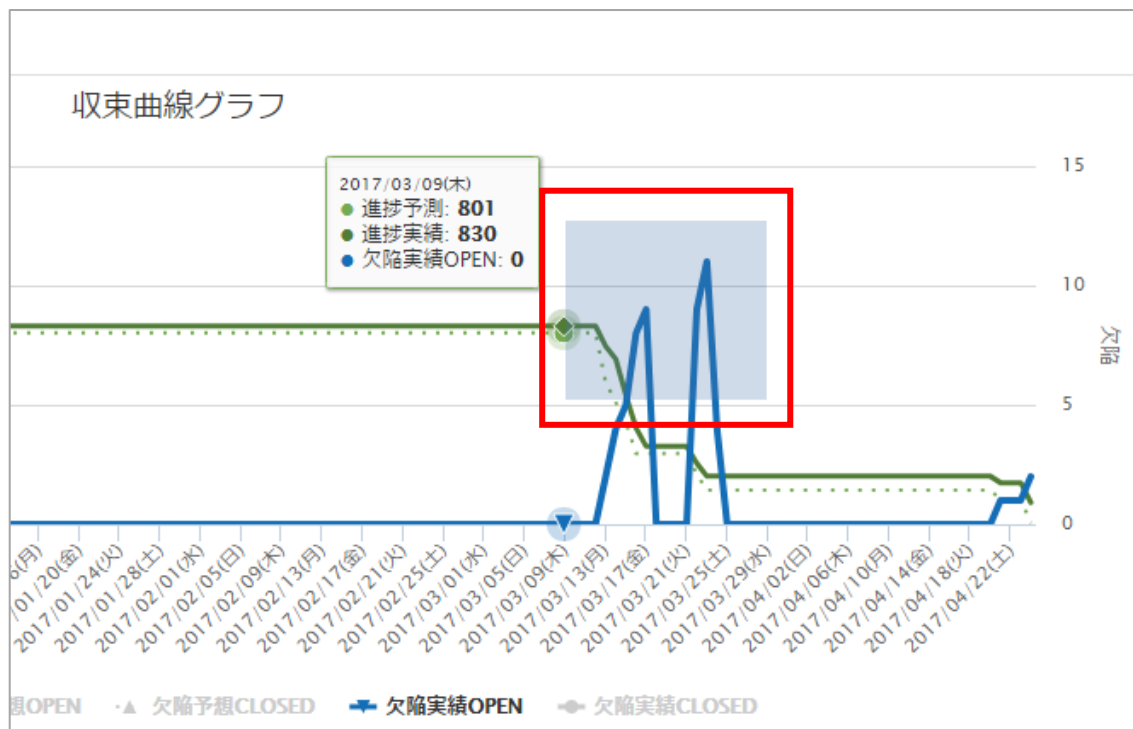
9.1.2. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

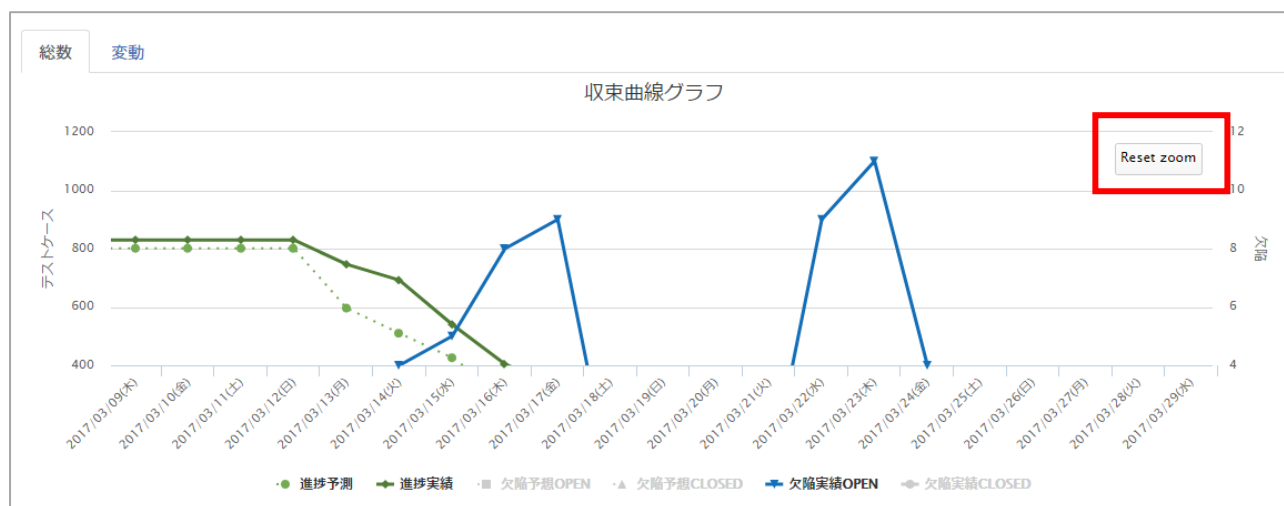
- (1) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



※収束曲線グラフが細かくて見づらい場合、ドラッグで範囲選択するとその部分をズームして見ることができます。



元に戻す場合はグラフ右上に表示される Reset zoom ボタンを押します。



9.1.3. プロジェクト全体のカバレッジパネル

プロジェクトのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (1) テストスイートの設定画面から、カバレッジパネルの集計に利用する項目設定で集計対象とするカラムを選択し保存します。

9.1.4. フェーズ一覧

プロジェクトに登録されているテストフェーズの一覧が表示されます。

フェーズ一覧		
テストフェーズ名 ▲	進行状況	
10・15リリース 📅 2017/09/08 ~ 2017/10/15	17/56 (30%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2045/2160 (95%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2160/2160 (100%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
βリリース向けフル試験 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	⚠️ まだデータがありません	カバレッジパネル チャート 実績推移表
テスト用フェーズ 📅 2017/04/14 ~ 2017/04/21	22/30 (73%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表

9.2. フェーズ毎レポート

フェーズ単位でのテスト予定と実績を確認できます。

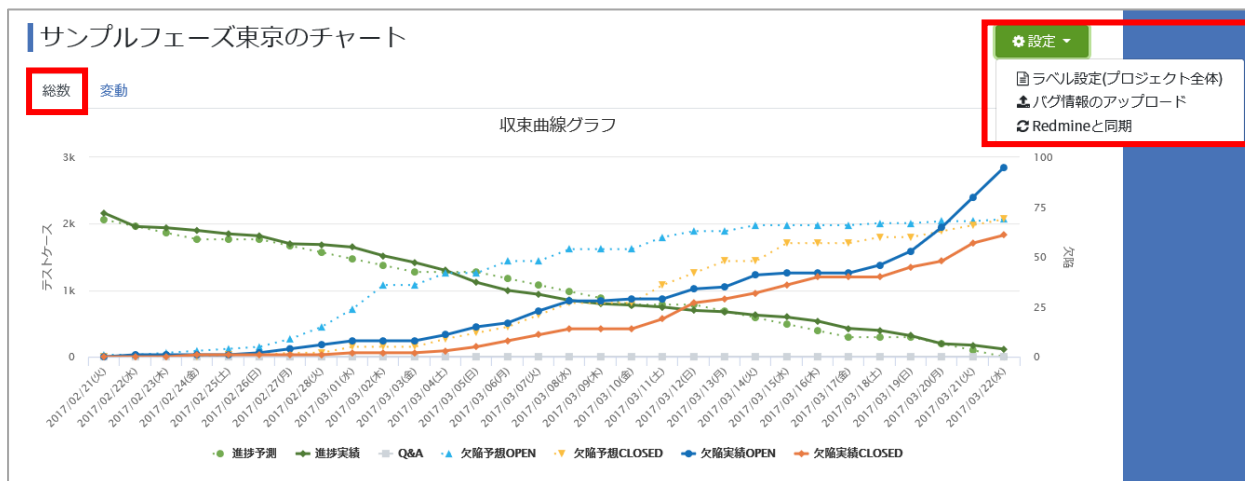
9.2.1. フェーズ毎のカバレッジパネル

フェーズのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (5) フェーズ毎のカバレッジパネルを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

フェーズ一覧		
テストフェーズ名 ▲	進行状況	
10・15リリース 📅 2017/09/08 ~ 2017/10/15	17/56 (30%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
αリリース向けテストフェーズ東京 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2045/2160 (95%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
αリリース向けテストフェーズ沖縄 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	2160/2160 (100%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表
βリリース向けフル試験 📅 2017/02/21 ~ 2017/03/22	⚠️ まだデータがありません	カバレッジパネル チャート 実績推移表
テスト用フェーズ 📅 2017/04/14 ~ 2017/04/21	22/30 (73%)	カバレッジパネル チャート 実績推移表

- (2) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



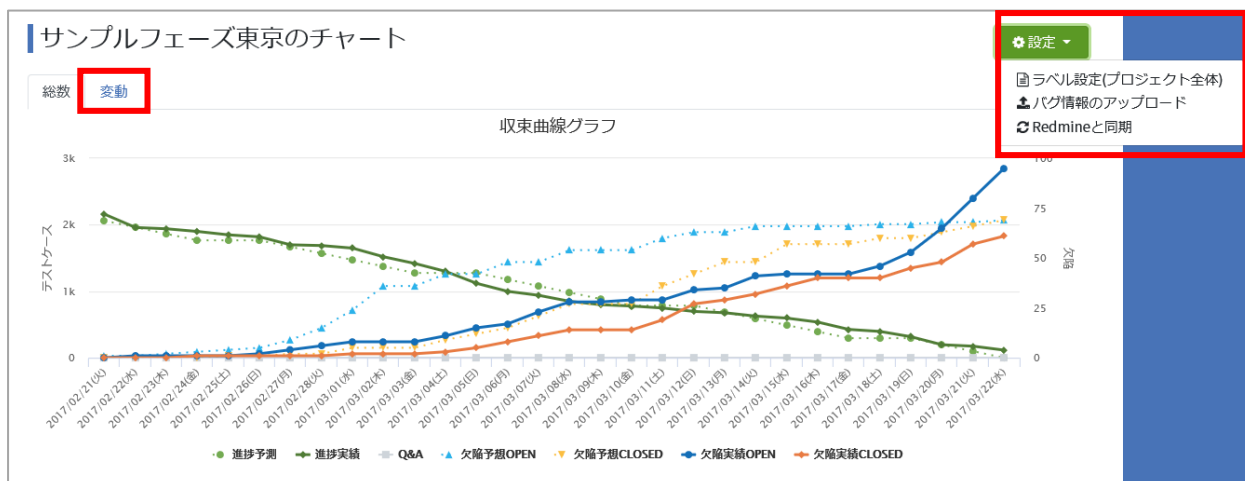
- (3) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の設定メニューから Redmine と同期(JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期)リンクをクリックします。

※Redmine・JIRA との同期は 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は Redmine と同期 (JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期) リンクを押してください。

9.2.3. 収束曲線(変動)

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

- (1) カーソルを合わせると日付毎に予定と進捗が確認できます。



- (2) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の設定メニューから Redmine と同期(JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期)リンクをクリックします。

※Redmine・JIRA との同期は 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は Redmine と同期 (JIRA と連携を行っている場合は JIRA と同期) リンクを押してください。

9.2.4. 欠陥実績数を CSV で登録する

欠陥の OPEN、CLOSE 実績数を CSV で直接登録する方法を説明します。

- (1) 以下のフォーマットに合わせて、日付・OPEN 数・CLOSE 数を入力した CSV ファイルを作成します。

バグ情報の取込

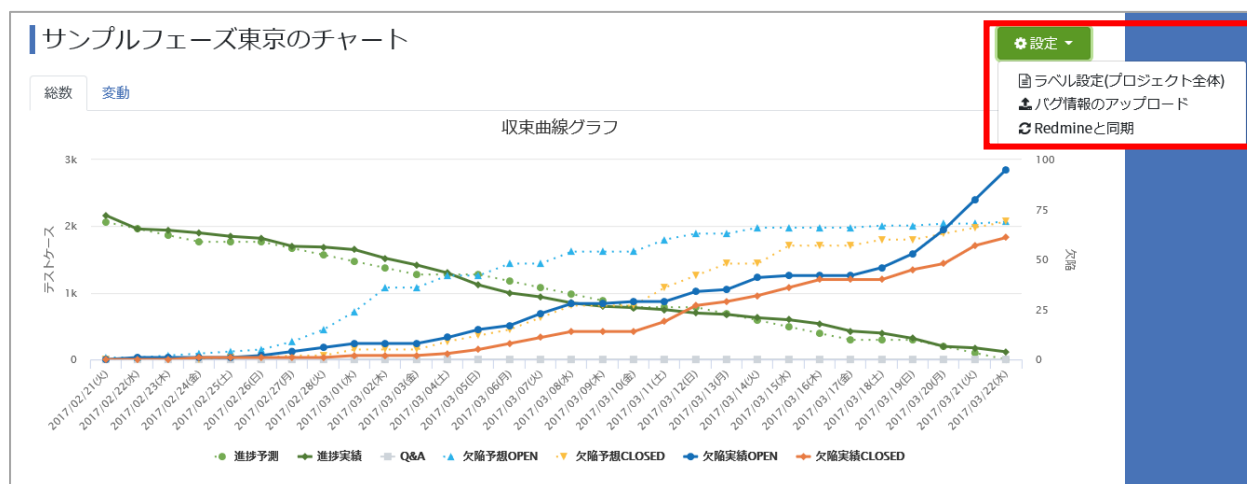
バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
ヘッダ行は不要です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

F6					
	A	B	C	D	
1	2017/5/29	1	0		
2	2017/5/30	5	2		
3	2017/5/31	10	5		
4					
5					

※ヘッダ行は不要です。

- (2) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューからバグ情報をアップロードリンクをクリックします。



- (3) バグ情報の取込ページを開いたら、ファイルを選択ボタンを押します。

バグ情報の取込

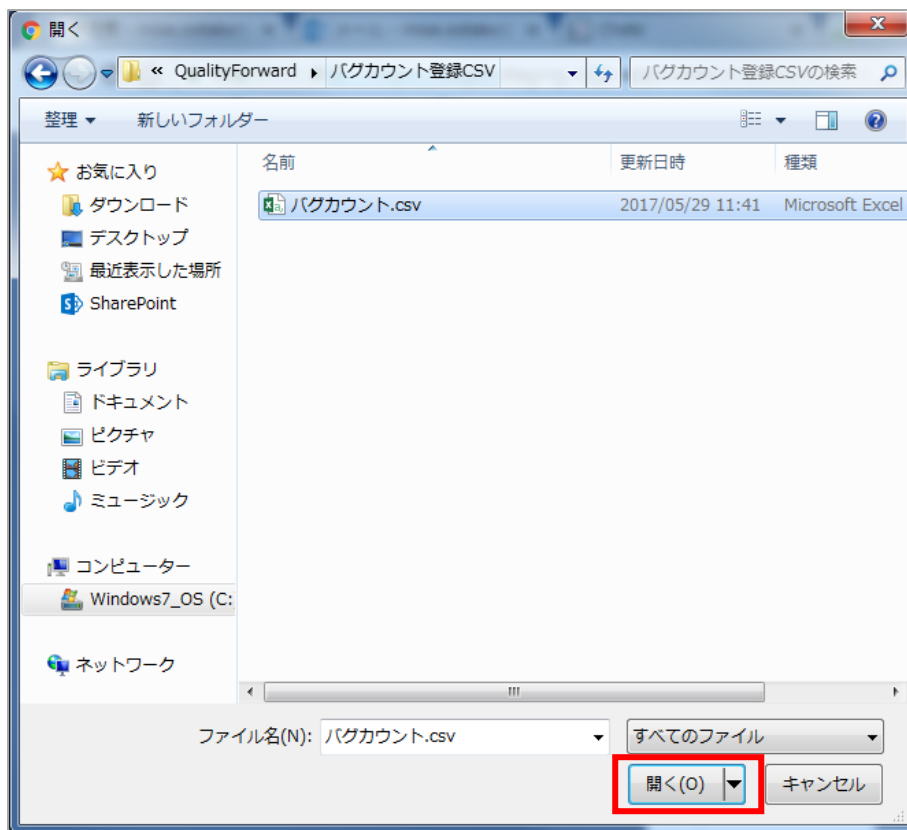
バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
ヘッダ行は不要です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

* CSVファイル(.csv) 選択されていません

登録する

- (4) 手順(1)で用意した CSV ファイルを選択します。



(5) 登録するボタンを押します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。
ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

* CSVファイル(.csv) ファイルを選択 バグカウント.csv

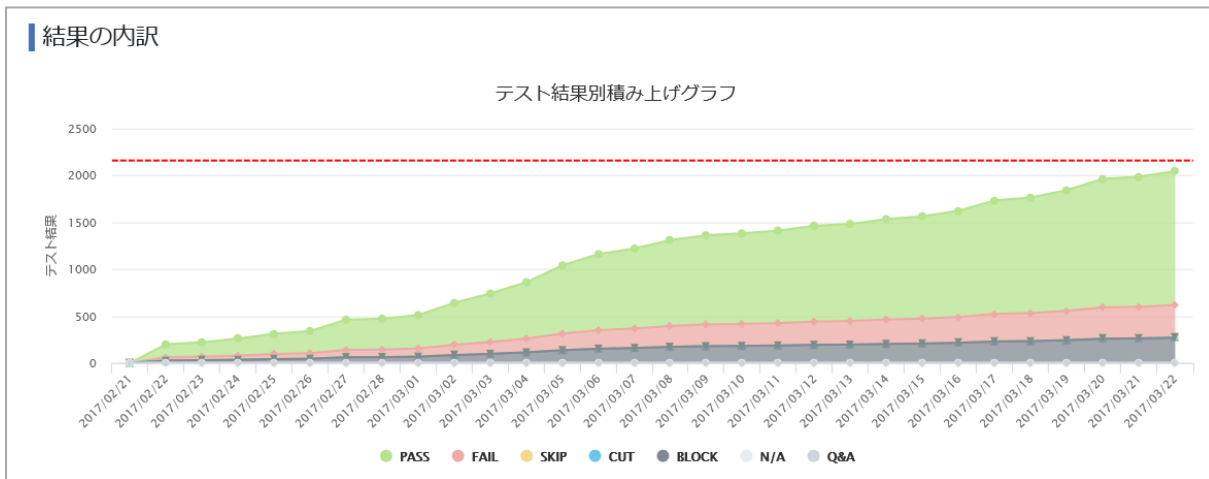
登録する

(6) 収束曲線画面へ遷移すれば登録成功です。

9.2.5. 進捗の内訳

対象のテストフェーズで実行されているテストの進捗件数のうち、どの結果が何件あるかを確認できます。

結果の内訳



9.2.6. 最近のインシデント

インシデント取得用の URL が設定済みの場合(手順 6.2.4 参照)最近のインシデント 10 件がレポート画面に表示されます。もっと見るリンクをクリックすることで、Redmine に遷移できます。

最近のインシデント

[249] 一つだけのテナントに属しているユーザーをテナントから外すと、当該ユーザーで再度サインインした後に、サインアウトができなくなる。

High / kou chin / 2016年12月07日 19時16分

[240] テスト実行画面で背景色が正しく表示されない。

High / misa ootake / 2016年11月28日 13時07分

[230] テスト実行画面で入力をした際に背景色が消える

High / misa ootake / 2016年10月21日 16時14分

[226] サイクルを削除せずに対象スイートの紐付けを解除するとバーンダウンの予実が合わなくなる

High / misa ootake / 2016年10月11日 15時51分

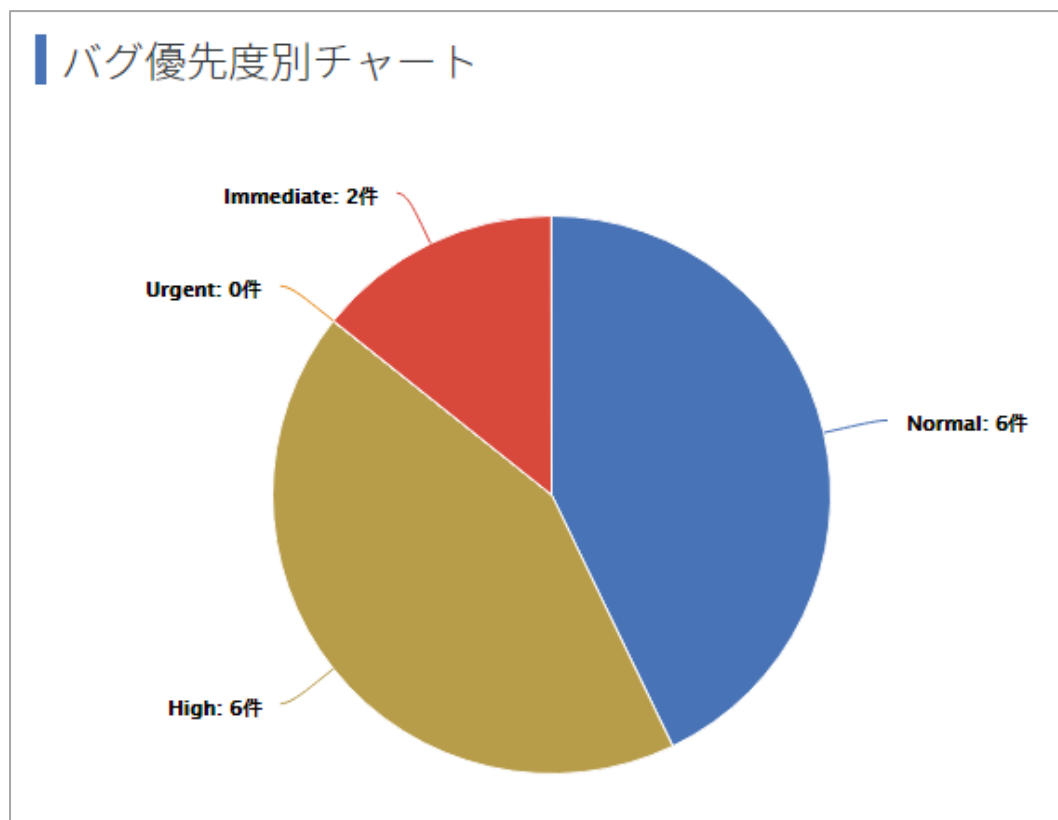
[55] テスト実施画面で最下部のコピーライト表示が成分バーに隠れて見えない

Immediate / daiki ito / 2016年05月23日 13時30分

[もっと見る →](#)

9.2.7. バグ優先度別チャート

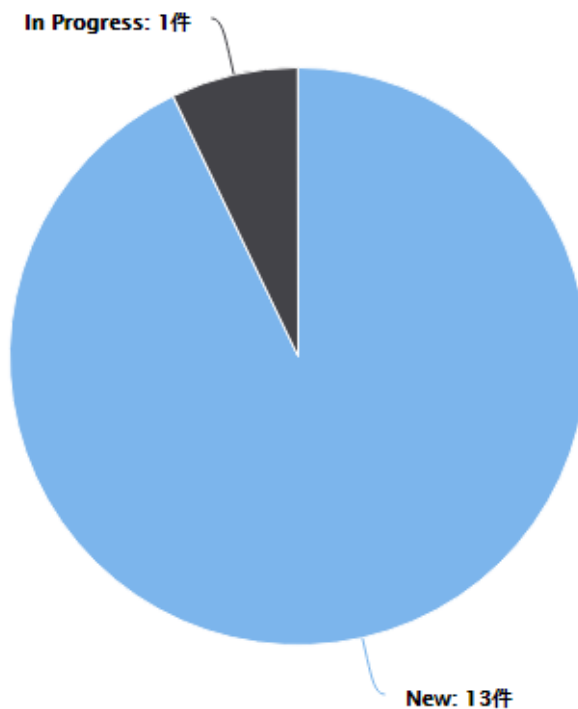
Redmine のベース URL を登録(手順 6.2.2 参照)しておけば、登録済みのチケットのうち、どの優先度のチケットがどれだけあるかをひと目で確認できるチャートが表示されます。



9.2.8. ステータス別チャート

バグ取得用 URL を登録(手順 6.2.3 参照)しておけば、登録済みチケットの各ステータスが何件ずつあるかを確認できるチャートが表示されます。

ステータス別チャート



9.2.9. 実績推移表

テストフェーズ単位で、フェーズ全体、およびテストサイクルごとの日々の実績、進捗率を集計、記録します。

- (1) プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧から実績を確認したいフェーズの実績推移表ボタンを押します。

フェーズ一覧			
テストフェーズ名 ▲	進行状況		
テストフェーズ1 📅 2017/11/01 ~ 2017/11/30	 500/500 (100%)	カバレッジパネル	実績推移表
テストフェーズ2 📅 2017/11/30 ~ 2017/12/15	 56/500 (11%)	カバレッジパネル	実績推移表
テストフェーズ3 📅 2017/11/15 ~ 2018/01/01	 14/14 (100%)	カバレッジパネル	実績推移表

- (2) 対象フェーズとプロジェクト全体の実績推移表が表示されます。

αリリース向けテストフェーズ沖縄の実績推移表		02/16(土)	02/17(日)	02/18(月)	02/19(火)	02/20(水)	02/21(木)	02/22(金)	02/23(土)	02/24(日)	02/25(月)	02/26(火)	02/27(水)	02/28(木)	03/01(金)	03/02(土)	03/03(日)	03/04(月)	03/05(火)
全体	消化数実績	0	171	30	60	10	30	1	39	60	60	140	110	30	20	80	120	98	143
	進捗率	0.0%	7.9%	9.3%	12.1%	12.5%	13.9%	14.0%	15.8%	18.6%	21.3%	27.8%	32.9%	34.3%	35.2%	38.9%	44.5%	49.0%	55.6%
	PASS	0	145	171	222	231	257	258	291	342	393	512	606	632	649	717	819	902	1023
	FAIL	0	7	8	10	10	11	11	13	15	17	23	27	28	29	32	37	41	47
	SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CUT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	BLOCK	0	19	22	29	30	33	33	37	44	51	66	78	81	83	92	105	116	132
	N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q&A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	累計バグ数	0	0	0	0	1	2	2	4	5	5	5	8	10	12	16	19	19	19
テストスイートサンプル_画面遷移テスト - 1.0 - 初回テスト	消化数実績	0	171	30	60	10	30	1	39	60	60	140	110	30	20	80	120	98	143
	進捗率	0.0%	7.9%	9.3%	12.1%	12.5%	13.9%	14.0%	15.8%	18.6%	21.3%	27.8%	32.9%	34.3%	35.2%	38.9%	44.5%	49.0%	55.6%
	PASS	0	145	171	222	231	257	258	291	342	393	512	606	632	649	717	819	902	1023
	FAIL	0	7	8	10	10	11	11	13	15	17	23	27	28	29	32	37	41	47
	SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CUT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	BLOCK	0	19	22	29	30	33	33	37	44	51	66	78	81	83	92	105	116	132
	N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q&A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	累計バグ数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	4	6	8	10	10	10

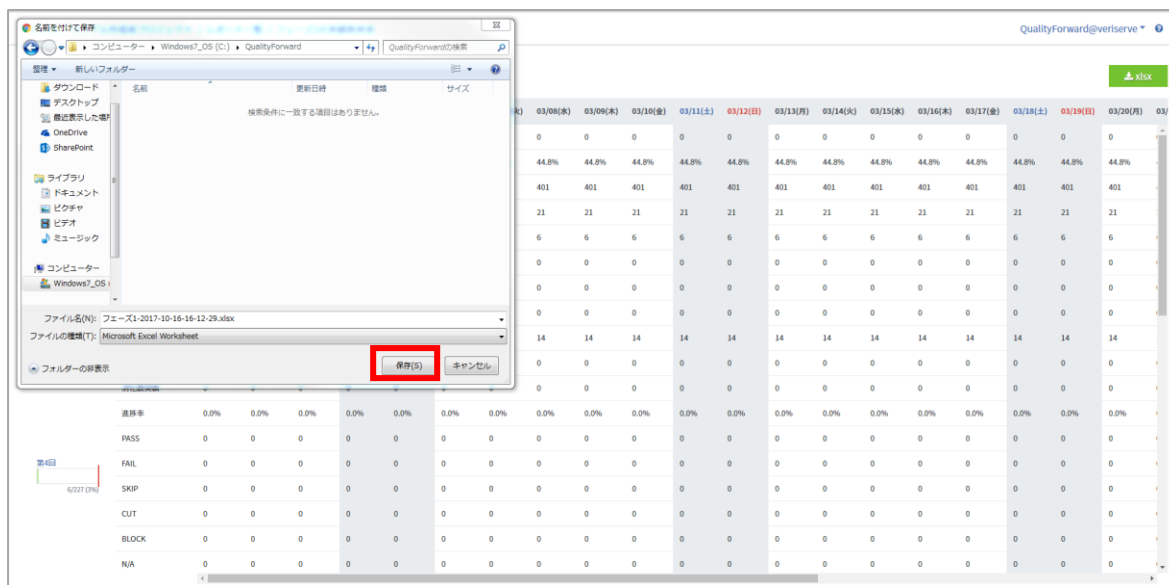
9.2.10. 実績推移表をエクスポートする

実績推移表はエクセル形式でのエクスポートが可能です。

- (1) 実績推移表右上の xlsx ボタンを押します。

QualityForward@veriserve										
xlsx										
02/10(金)	03/11(土)	03/12(日)	03/13(月)	03/14(火)	03/15(水)	03/16(木)	03/17(金)	03/18(土)	03/19(日)	03/20(月)
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%	44.8%
401	401	401	401	401	401	401	401	401	401	401
21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



9.3. レポート設定

レポート画面での文言を自由に設定することができます。

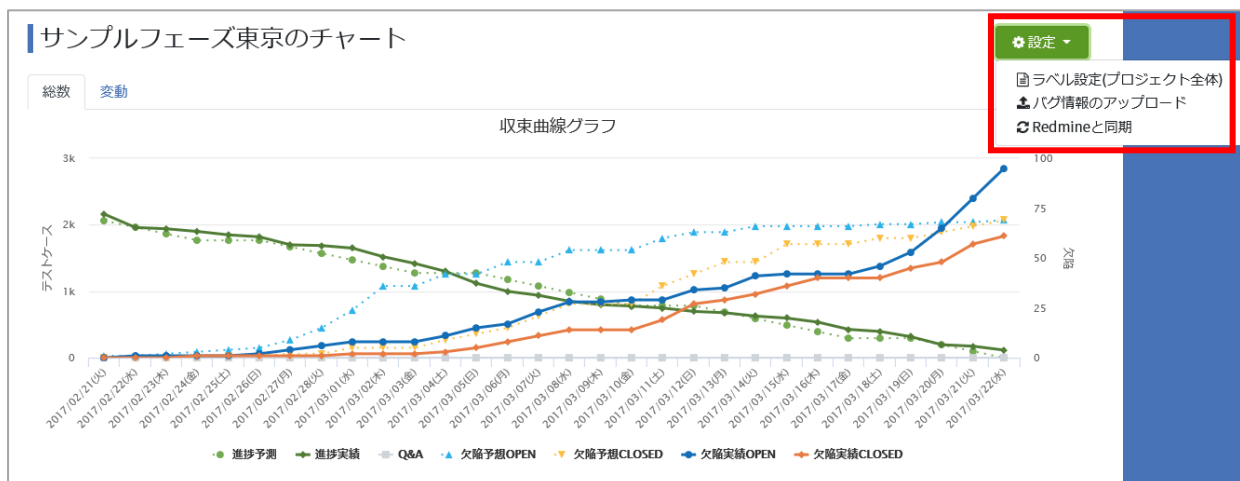
9.3.1. フッターのラベルを変更する

レポート画面最下部のコピーライトを書き換えることが可能です。

BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0

© 2017 Veriserve Corporation

(1) レポート画面右上の設定メニューからラベル設定リンクをクリックします。



- (2) 基本設定のフッターラベルに設定したい文字を入力を行います。

レポートのラベル設定

基本設定

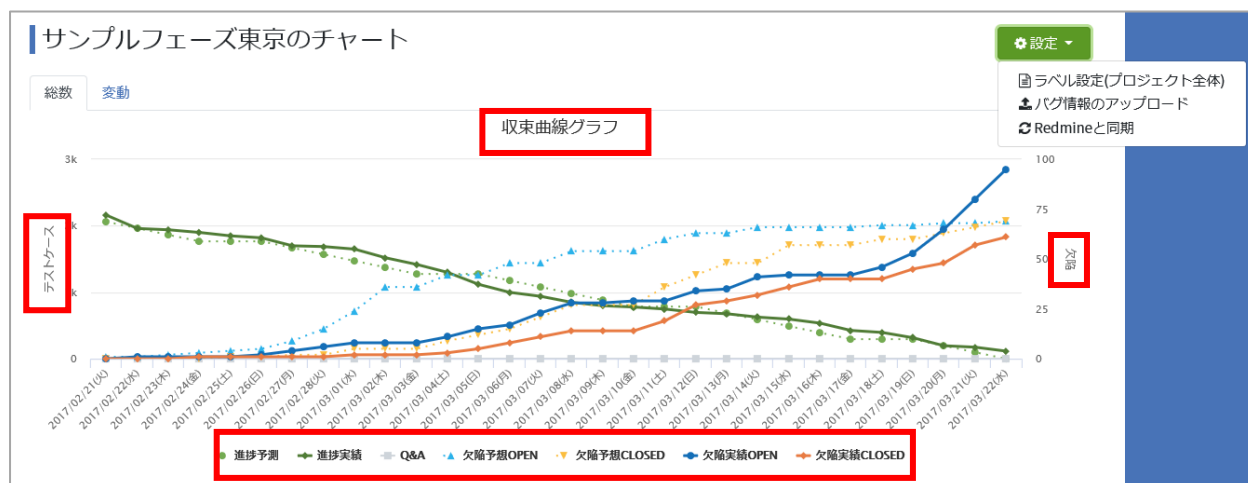
フッターラベル

- (3) 最下部の更新するボタンを押します。

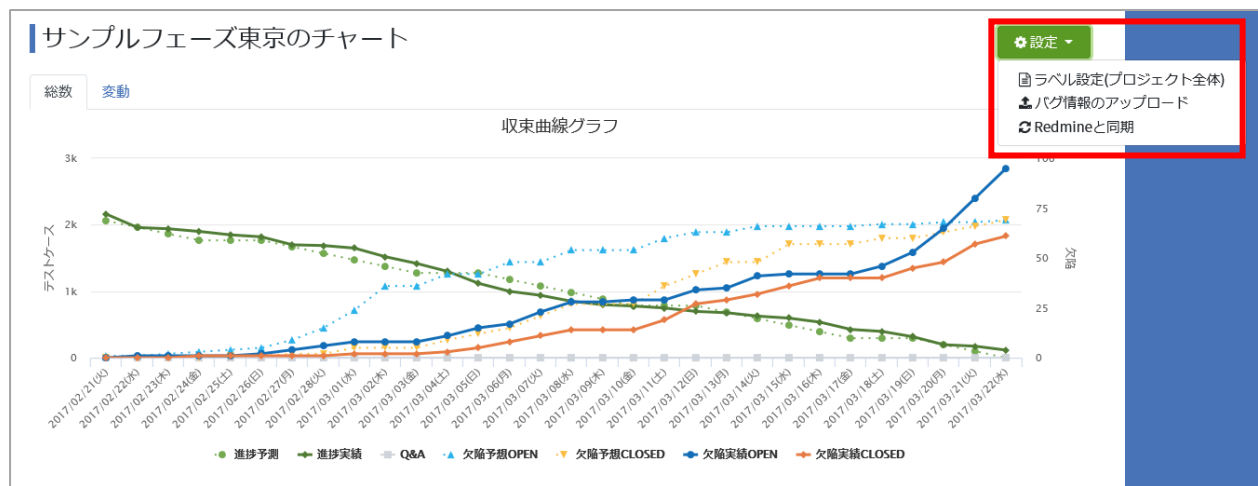
更新する

9.3.2. レポートのラベルを変更する

レポート画面のグラフに表示させるラベルの文言を自由に設定することができます。



- (1) レポート画面右上の設定メニューからラベル設定リンクをクリックします。



(2) 収束曲線グラフ設定のそれぞれの項目に設定したい文字を入力します。

レポートのラベル設定

基本設定

フッターラベル

収束曲線グラフ設定

グラフタイトル

テストケースラベル

欠陥ラベル

進捗予想ラベル

進捗実績ラベル

欠陥予想OPENラベル

欠陥予想CLOSEDラベル

欠陥実績OPENラベル

欠陥実績CLOSEDラベル

更新する

(3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

※初期値に戻したい場合はテキストボックスを空にして更新ボタンを押します。

第10章 チーム Wiki の管理

チーム内の情報共有の場としてチーム Wiki をご利用いただけます。本章ではチーム Wiki の利用方法について説明します。

10.1. チーム Wiki の作成

チーム Wiki の作成方法について説明します。

10.1.1. ページを新規作成する

(1) ダッシュボード画面左のメニューからチーム Wiki のリンクをクリックします。



(2) チーム Wiki トップページ右上の編集ボタンを押します。



(3) 共有したい内容を入力します。自由に入力が可能です。

ページの編集

記入 プレビュー

* ページ名 新規ページ①

* 内容 (markdown) サンプルページ
<http://www.veriserve.co.jp/>
見本見本

添付ファイル

ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

更新する

(4) プレビュータブで入力内容の確認ができます。

ページの編集

記入 プレビュー

新規ページ①

サンプルページ

<http://www.veriserve.co.jp/>

見本見本

添付ファイル

ファイルをドロップするか
ここをクリックして下さい

更新する

10.1.2. ファイルを添付する

(1) 画像を添付したい場合は、ページ編集画面右のファイル添付エリアにファイルをドロップす

るか、クリックします。

ページの編集

記入

プレビュー

* ページ名

新規ページ①

* 内容
(markdown)

サンプルページ
<http://www.veriserve.co.jp/>
見本見本

更新する

添付ファイル



ファイルをドロップ
するか
ここをクリックして
下さい

(2) 入力を全て終えたら更新するボタンを押します。

ページの編集

記入

プレビュー

新規ページ①

サンプルページ
<http://www.veriserve.co.jp/>
見本見本

更新する

添付ファイル





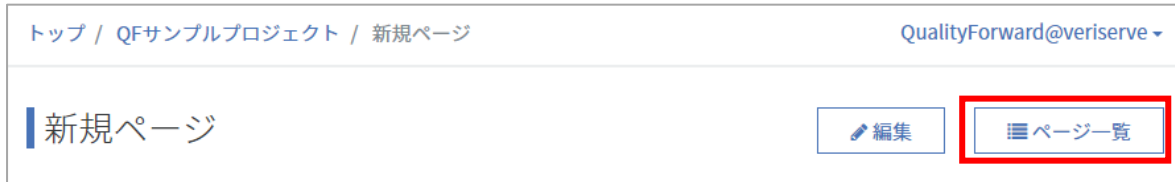
Koala.jpg

Penguins.jpg

10.1.3. ページを追加する

チーム Wiki に既にページが存在する場合、新たにページを追加する方法を説明します。

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) チーム Wiki ページ一覧右上のページ追加ボタンを押します。



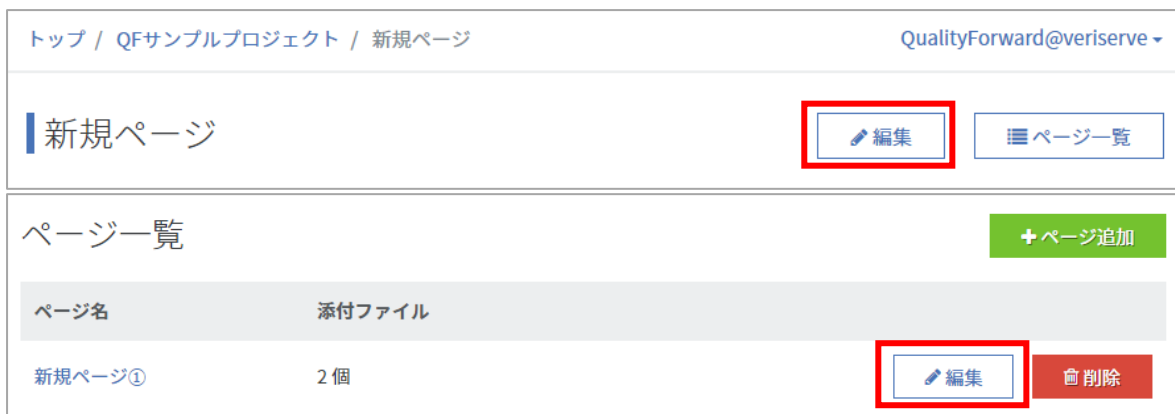
- (3) ページ名と内容を入力したら更新するボタンを押します。

10.2. チーム Wiki を編集・削除する

チーム Wiki の情報を編集・削除する方法を説明します。ページの情報にはチーム Wiki 画面からいつでも変更可能です。

10.2.1. ページを編集する

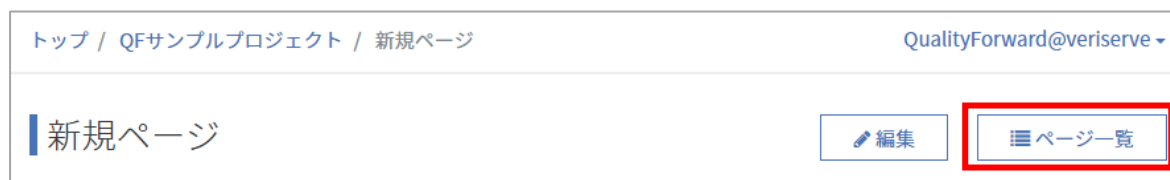
- (1) チーム Wiki トップページまたはページ一覧から編集ボタンを押します。



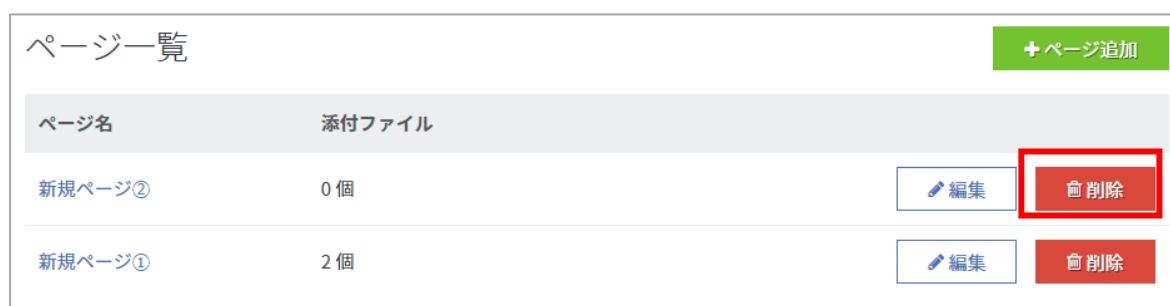
- (2) 内容の編集が完了したら更新ボタンを押します。

10.2.2. ページを削除する

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) 消したいページの右側の削除ボタンを押します。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

